

DECEMBER. 2005

広報

# とめ

# 12

No.17

見つめる先は登米市の未来

(登米市開市記念式典：米山丸山太鼓)



## 主な内容

- 特集「九つがひとつに」
- 市開市記念式典開催
- 秋の叙勲受章者
- 市産業フェスティバル開催
- 9町トピックス
- 市民の広場
- 市からのお知らせ・暮らしの情報



九つがひとつになったまち、登米市。

9町の豊かな自然や歴史と文化、そしてそこに住む人たちが一体になり、登米市がより魅力的なまちになりました。

県内トップの生産額を誇る農業、全国からも注目されている小中一貫教育や子育て支援策、地域に伝わる伝統の祭りなど、まちの活力、資源は大きく広がりました。

今月号では、市民9万2千人の新たな力を「農力」「育力」「人力」というテーマで紹介します。

(写真は中田幼稚園)

特集 合併元年「登米市」9万2千人の力

# 九つがひとつに



# 第1章 農力

古くから農業は登米地域の基幹産業。現在、農業の粗生産額は県内一を誇ります。地域を代表する作物「米」と、現代の食卓には欠かせない「牛肉」のブランド化を目指す「農力」を紹介します。

## 日々の努力が実を結ぶ

### 挑戦がブランド米を生む

#### 群を抜く米の生産額と 環境保全米の需用増加

北上川や迫川など、水量豊かな河川に支えられ、広大な耕地を擁する登米地域は、その地域特性を活かして魅力ある農産物を数多く生産してきました。

市の農業粗生産額（米、麦・雑穀豆類、果実、畜産など）は、268億7千万円と県内トップ（平成15年度現在）を誇り、そのうち、米の生産額が50%を占めています。

近年、農薬・化学肥料の使用を最小限に抑えて栽培された環境保全米の需要が高まってきています。この



阿部 善文さん（39歳）  
南方町・板倉

ような消費者の声に応えるように、市内では環境保全型農業に取り組む農家が年々増加しています。

#### 環境保全米の先駆者 全国から注文が殺到

（有）板倉農産取締役の阿部善文さん（南方町）は、いち早く取り組ん

だ環境保全型農業の先駆者です。

現在、9・7畝にひとめぼれやササニシキ、こころまちなど、8種類を作付けし、全国に2,300件を超える顧客を抱えています。

阿部さんの農法は、稲わらや米ぬかなどを有機物として土に返し、微生物の繁殖環境を保つ独自のリサイクルシステムを活用します。

米ぬかに水と乳酸菌を加えて発酵、乾燥させ、小豆の大きさに加工した米ぬかペレットを田植えの時期に散布しています。水田の表面を有機物の層で覆い、トロトロにすることで初期の雑草を生えにくくしています。

また、アイガモを水田に放し飼いにし、農薬を使わずに除草する農法も取り入れています。この商品が板倉農産の独自ブランド、早稲種こころまちな「はつかり米」です。



全国各地から注文が殺到し、11月は出荷作業で大忙し。取材のときは、沖繩県に出荷する準備をしていました

#### 渡り鳥を保護し 共生できる農法

市には、伊豆沼や内沼があり、秋には多数のガンが飛来します。昔からガンは稲穂を食べる害鳥のイメー



丹精込めて作った環境保全米を一つ一つ大事に消費者のもとへ届けます

阿部さんの米作りへの挑戦はまだ  
まだ続きます。

「環境保全米が登米市のブランド  
米となるよう、市内全域で取り組め  
ればうれしい。同じ思いを抱いて取  
り組む人たちに情報提供をしていき  
たい」と語ります。

また、担い手の確保や後進の指導  
のため、積極的に米作りの講師を引  
き受けたり、農業研修生を受け入れ  
たりしています。自身のホームページ  
に農作業の状況を紹介するなど、  
販売へのPRも欠かしません。

阿部さんは、消費者との交流も大  
切にしています。毎年県内外から多  
くの児童生徒などが、田植えや草取  
り、稲刈りなどの農業体験に訪れま  
す。

### ブランド米を目指し 全域での取り組みを

「ここらまちは早稲種なので、ガ  
ンが飛来する前にいち早く収穫でき  
ます。餌となる落ち穂や刈り取り後  
の切り株から生えてくる芽のヒコバ  
エをガンに提供することで、ほかの  
水田への影響を少なくしています。  
ガンと共生したはつかり米を通して、  
伊豆沼などの登米市の豊かな自然を  
守っていることも、消費者にPRし  
ていきたい」。阿部さんは農法に自  
信を持って語っています。

「ここらまちは早稲種なので、ガ  
ンが飛来する前にいち早く収穫でき  
ます。餌となる落ち穂や刈り取り後  
の切り株から生えてくる芽のヒコバ  
エをガンに提供することで、ほかの  
水田への影響を少なくしています。  
ガンと共生したはつかり米を通して、  
伊豆沼などの登米市の豊かな自然を  
守っていることも、消費者にPRし  
ていきたい」。阿部さんは農法に自  
信を持って語っています。

「ここらまちは早稲種なので、ガ  
ンが飛来する前にいち早く収穫でき  
ます。餌となる落ち穂や刈り取り後  
の切り株から生えてくる芽のヒコバ  
エをガンに提供することで、ほかの  
水田への影響を少なくしています。  
ガンと共生したはつかり米を通して、  
伊豆沼などの登米市の豊かな自然を  
守っていることも、消費者にPRし  
ていきたい」。阿部さんは農法に自  
信を持って語っています。

# 畜産の里づくりを目指して

## 農業粗生産額の33% 県内一の家畜飼養頭数

本市は、米とともに畜産の生産額も県内一を誇ります。肉用牛、乳用牛、豚を中心とした畜産の粗生産額は、農業全体の33%を占めています。

また、家畜飼養頭数も県内一位。中でも肉用牛は繁殖牛が7,498頭、肥育牛15,621頭が飼育され、年間出荷頭数は子牛と和牛肥育牛がそれぞれ5千頭を数え、全国でも上位の出荷頭数となっています。

子牛と肉牛の出荷頭数に差がないということは、肥育素牛を市内から調達する地域一貫生産が定着しているように思われますが、血統の組み合わせや市場性などから、肥育素牛

を県外に求めることが多く、調達率は40%にしかなっていません。今後、ブランド化と安心安全な牛肉の生産を目指し、地域一貫生産の普及が望まれています。

### 放牧形式で労力を省力化 1年1産を実現する

経営に工夫を凝らし、合理的な飼育管理で労力の省力化や低コスト生産を実現しているのが、迫町の新田尚さんと登米町の千葉正憲さんです。

新田さんは、自宅に隣接する60坪の土地で、電気牧柵びんせうぼくさくによる繁殖牛の放牧飼育をしています。現在、親牛40頭を飼育し、年間30頭を超える子牛を出荷しています。

「放牧飼育には利点が多くありま



新田 尚ひしさん (53歳)  
迫町・大形

す。畜舎飼育と比べると、排せつ物の搬出作業が2カ月に1回と少ない回数で済み、その労力を別な作業に注げます」と語ります。

親牛が子牛を産む周期は1年1産が望ましいのですが、現実的には非常に難しいことです。しかし、放牧することで牛の健康状態が良くなることと、観察する時間が取れることで発情期を見逃さず、1年1産を可能にしています。

「1人の労力には限界があるため、増頭するには省力化が必要だった。放牧形式にしたことで効率良く作業

ができ、健康で元気の良い牛が育つてくれている」と新田さんは話します。

今後市では、放牧形態の繁殖経営も推進していく考えています。

### 市内産の子牛を導入 地域一貫生産を実現

(有)千葉仁畜産で取締役を務める千葉さんは、畜舎4力所で450頭を肥育し、年間250頭の黒毛和牛を出荷しています。

経営の特徴は、肥育素牛をすべて宮城総合家畜市場で市内産だけを導入していることです。このことは市内での地域一貫生産を実践していることとなります。

畜舎は、牛の体調維持のため通気や採光を考えた設計にしています。餌は自動給餌装置により、朝晩2回、決められた時間に配合飼料を与え、排せつ物はそれぞれの牛房から自動的に押し出されて一定量になってから運搬機で搬出しています。一連の作業を機械化することで、新田さん同様、労力を省力化し、牛の体調や発育度合いなど、衛生・個体管理に



千葉 正憲まさのりさん (50歳)  
登米町・岡谷地



餌を与えるときも一頭一頭の食べ方で  
牛の体調や発情期などを観察します



自動給餌装置を使うことで労力を省力化

十分な時間を充てています。  
千葉さんは「良い子牛は良い成牛  
に育つ。今後も市内産の良質な子牛  
を導入し、手塩にかけて飼育してい  
く。そしてすべて仙台牛として出荷  
していきたい」と語ります。  
本市はブランド牛を生産する畜産  
の里です。生産者の経営努力が続ぎ  
ます。

# カリキュラムの充実で 基礎学力向上へ

## 豊里小中一貫教育特区が認定 6・3制を3・4・2制に変更

昨年4月、国の構造改革特区制度で認定された小中一貫教育が豊里町で始まりまし。

平成15年11月に認定を受けましたが、県内では初めての取り組みでした。全国でも6地区（平成16年6月現在）と例が少なく、特に3・4・2制【表1】による学年の構成は豊里町のみとなっています。

# 夢を

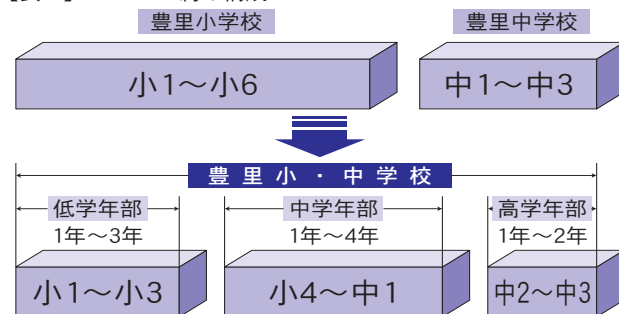
が心豊かに成長するためには、  
小中一貫教育と子育て支援の

豊里小中一貫教育は、児童の心理が大きく変化する11・12歳の年代を挟み込む小学4年生から中学1年生を中学年部とし、これまでの6・3制から3・4・2制に変更しました。また、小学校では4年生の英語科新設や一部教科での担任制、中学校では、数学、英語などの時数を増やした授業が特徴となっています。

### 知育を基本とし実態に 応じた基礎学力の向上

平成13年、豊里町は小・中学生の学力検査などを通して、全国レベルに達していない教科の学力改善に力を注ぐことを決めました。そのため指導方法の改革には、物理的な環境を変えることが効果的と考えました。それがカリキュラムの充実や3・4・2制による小中一貫教育です。しかし、小・中学校の各教科授業時数は、国が定める学習指導要領で変更できません。数学、英語の授業時数を増やしたい豊里町の目指す教育には、法律が障害となっていました。そこで、教育特区の申請をし、それが認定されたことで、法律の壁を乗り越えた教育改革が始まったのです。

【表1】 3・4・2制の構成



【表2】 豊里小・中学校授業時数（特区関係分）

区分		中学年部1年 【小4】	中学年部2年 【小5】	中学年部3年 【小6】
必修教科	算数	150	150	170 (150)
	英語	70 (0)	70 (0)	50 (0)
総合的な学習		35【プロジェクト】 (105)	40【プロジェクト】 (110)	40【プロジェクト】 (110)
区分		中学年部4年 【中1】	高学年部1年 【中2】	高学年部2年 【中3】
必修教科	国語	140	105	123 (105)
	社会	105	105	105 (85)
	数学	120 (105)	123 (105)	140 (105)
	理科	105	105	105 (80)
	英語	120 (105)	140 (105)	140 (105)
選択教科		0 (0~30)	0 (50~85)	0 (105~165)
総合的な学習		70 (70~100)	102 (70~105)	102 (70~130)

※ ( ) 書きは学習指導要領で定める標準の授業時数

### 小4から英語科を新設 教科担任制も実施する

9年間の授業時数は、次のとおり見直されています【表2】。

小学1年生から3年生までは変更せず、担任を中心としつかりとした基礎学力の定着を目指しています。

小学4年生からは、英語科を新設し、歌やゲームなどで楽しく英語を学習しています。4年生からの英語科新設に伴い、総合的な学習の時間を削減しています。中学校では、選択教科を無くすなどして、必修教科の授業時数を増やしています。

また、小学4年生からは一部の教科で、教科担任制を実施しています。教科担任制にすることで教師の専門

性を生かし、より効果的な学習を展開することが可能です。

総合的な学習の時間では、新旧北上川、迫川、平筒沼などの身近な自然を題材とする、水をテーマとした環境学習を中心に授業を展開しています。

### 本格的なスタートに向け 小・中学校を同一校舎に

小中一貫教育については、全国から注目されており、学校や市町村、報道機関など、大勢の関係者がある取り組みの視察に訪れています。

現在、小・中学校の既存校舎で授業を実施していますが、市では来年度、中学校の敷地内に小中一貫教育のための校舎を増築する予定です。



# 第2章 育力

## まちの宝、子ども

まちの将来を担う子どもたち。子どもたち教育環境が整っていなければなりません。「育力」を紹介します。



授業はALTと英語専門の教師が指導。手拍子やダンスを交えた英語の歌を歌ったり、小道具を使ってゲーム感覚で学習しています

数学や理科の授業で、基礎と応用に分かれた少人数授業をしています。少人数なので分からないことなど、積極的にたくさん質問できます。また、英語のコミュニケーション授業で、市内のALTの先生と話やゲームができて楽しかったです。

### 少人数授業で積極的にたくさん質問



佐々木由依さん  
豊里中3年

英語は4年生になってから初めて経験しました。最初は難しかったです。最初は難しかったけど、クラスの友達と一緒に歌を歌ったり、ダンスをして勉強する英語はすごく楽しいです。テレビを見ていて、授業で習った英語が流れるとうれしいです。

### 歌やゲームで楽しく英語を勉強



今野翔也くん  
豊里小4年

平成19年4月、小・中学校9年間の子どもたちの学び舎「豊里小・中学校」が完成することで、本格的な豊里小中一貫教育特区がスタートします。

## 子育てを支える土台

登米市も少子化が進行  
5年前から7・5%減少

市内の6歳未満の子どもは4,42人で、全人口のおよそ5%になります(4月1日現在)。全国的に少子化問題が深刻化している中、市でも年々出生数が減少しています。昨年の出生数は713人、平成11年と比較するとマイナス58人、7・5%減っています。市ではこうした問題を踏まえ、子育て支援に力を注いでいます。

新規・引き継ぎ事業など  
さまざまな子育て支援

市の子育て支援事業は、国、県事業に加え、各種検診や出産一時金、医療費助成、特定不妊治療費助成など、旧町から引き継がれた事業や、市として新たに設けた事業などさまざまあります。その中で合併時に利用時間が統一、延長された保育所・児童館事業を紹介します。

希望者には利用時間を延長  
一時保育サービスの実施も

市内の保育所(園)は、市立、私立(認可)ともに9カ所、認可外の私立保育所は11カ所あります。隣接する栗原市よりも13カ所、定員も

652人多くなっています。

4月1日現在で、29カ所の定員総数1,432人に対し、1,318人が利用しています。合併したことで、市内すべての保育所へ通えるようになり、保護者にとっては、選択の幅が広がり利用しやすくなっています。

通常の保育時間は、月曜日から土曜日までの毎日午前8時から午後4時まで統一されていますが、市立私立(認可)の18カ所のほとんどの保育所は、希望者には午前7時30分から午後6時30分まで時間を延長しています(今年度は保育所によって延長時間が異なりますが、来年度から統一されます)。国の補助を受け、さらに延長している保育所もあります。

時間延長保育は、子育てと仕事を両立している家庭にとっては、安心して仕事ができる制度です。また、普段は家庭で子育てしている保護者

が、病気や急用などにより一時的に子どもを預ける「一時保育」も4カ所を実施しています。一時保育は、半日単位で利用でき、利用者からは便利な制度と喜ばれています。のほか、幼稚園の子育て支援策として、市内16幼稚園のうち、11園で預かり保育も実施しています。

これからも市では、いつでもも利用できる保育サービスの充実に努めて



放課後児童クラブでは、年齢や学校が違う子どもたちが分け隔てなく接しているため、社会性が養われ健全育成につながっています

いきます。



千葉 ゆりさん (31歳)  
石越町・渋川

5歳の長男と3歳の長女を0歳から預け、市内の会社に勤めている千葉さんは「通常は夕方5時過ぎに迎えに行きますが、残業のときは6時30分ころになってしまいます。土曜日勤務のときもお世話になっていますので、大変助かっています」と話します。延長保育は、少子化問題解決に大きな効果が期待されています。



安心して仕事を  
してください



米谷保育所保育士  
齋藤 郁子さん

家庭で育児ができれば一番良いことですが、仕事をしなければいけない環境の保護者が数多くいると思います。預けられた子どもたちは、友達や保育士と毎日元気に遊んでいます。

保育所では、預けられたお子さんを責任を持って保育してほしいです。

学年関係なく仲良  
く勉強しています



米山児童館放課後  
クラブ指導員  
小林 秀子さん

児童館利用は、隣接する米岡小学校の児童が多かったのですが、合併後は町内の3小学校からも児童が集まります。クラブでは、仕事で時間が無く保護者が見てやれない宿題を、学年関係なく全員で教え合いながら勉強します。牛乳パックなどで小物入れを作るなど、施設でしかできない遊びも教えています。



少子化問題を最重要課題の一つとして子育てをサポートしていきます。子どもはまちの「宝」です

## 未体験の遊びや 異年齢との交流

市では、児童館5カ所、子育て支援センター6カ所、学童保育、幼児クラブ、子育て教室など、さまざまな事業を実施し、子育て家庭の支援をしています。

また、児童館、子育て支援センター、公民館などを利用した施設の12カ所では、保護者が日中仕事などで保護指導できない小学1年生から3年生までの児童を対象に、「放課後児童クラブ(保育)」を実施しています。

平日の利用時間は、学校終了時間から午後6時30分までで、土曜日と学校休業日は、午前7時30分から午後6時30分までです。保護者の要望を受け、合併を機に延長されたものです(今年度は地区の状況により時間が設定されています)。

家庭では体験できない遊びや異年齢との交流が深められることから、希望者が多い事業となっています。

## 子育てをサポートし 子どもの元気な声を

このように、市ではさまざまな事業を通して子育てをサポートし、安心して子育てや仕事ができる環境を整えています。子どもはまちの「宝」です。これからもたくさん子どもが生まれ、元気な子どもの声が響くまちを目指していきます。



①300種類80万本の色鮮やかな花菖蒲の饗宴（南方花菖蒲祭り）②道の駅よねやまで催され多くの人たちが訪れました（米山夏祭り）③迫力ある山車、みこしが練り歩き多くの市民が熱狂（佐沼夏祭り）④県内外32チーム総勢1,000人による圧巻の総踊り（YOSAKOI&ねぶたinとよさと）⑤期間中多くの親子連れが訪れ園内の乗り物にも長蛇の列（石越あじさい祭り）⑥水面を鮮やかな花で彩り遊覧船も大好評（長沼はす祭り）⑦過去最長265mナイアガラ花火に観衆は酔いしれました（長沼花火）⑧紅白もち3,000個が豪快にまかれ当たりもちを取った人は歓声を上げました（津山もちまき大会）⑨約440年の歴史を誇る伝統の行列（綱木之里大名行列）⑩江戸時代から昭和40年まで続いた催しを昨年から復活（石森高市）⑪市外から毎年多くの観光客が集まる330年の伝統の祭り（とよま秋まつり）

# 人々を魅了する伝統の祭り

古<sup>いにしへ</sup>から受け継ぎ、守られてきた伝統と文化を擁する登米市。それぞれの地域で四季を彩るさまざまな祭りが心を熱くさせます。

迫力ある山車<sup>だし</sup>、練り歩くみこしと打ち上げ花火で迫川の水面が染まる佐沼夏祭り。市の夏の代表的な祭りとなつて、多くの観衆が訪れます。商工会や行政区、企業、関係団体などが中心となつて運営している伝統の祭りで、地元の人たちの熱い思い

が伝わってきます。

今年の佐沼夏祭りには、2日間を通して昨年より1万5千人多い6万5千人が足を運びました。イベント数を増やすなど主催者側の努力と、市として一つになつて初めて開催した結果といえます。

330年の歴史を誇り、人々を幽玄の世界へ誘<sup>いざな</sup>う登米の秋祭り。幻の花<sup>はな</sup>「花且美」など、公園内に300種類80万株が咲き競う南方花菖蒲祭

り。行政主導から民間に移行して実施され、2万人の観衆を集めた県内2番目の規模を誇るYOSAKOI&ねぶたinとよさとなど、市内には四季を通して多くの祭りやイベントがあります。

行政主導での祭りやイベントは民間主導へと変わりつつあります。企画や運営などを市民の目線で創意工夫された祭りは、市民に守られ後世まで引き継がれると思います。

祭りには市民皆さんの力が欠かせません。熱い思いが込められた祭りに、これからも多くの人々が魅了され続けることでしょう。

# を熱くする

り。四季を彩るさまざまな祭りに



9



10



11



4



8



6



7



5

### 第3章

# 人カ

## 伝統の祭りが心

それぞれの地域が受け継いできた伝統の祭りは地域の人たちの思いが込められています。

米市。これから本当の意味で  
まります。

# ちづくりの力



## る住み良いまちに

津山産直組合に所属して  
ますが、もくもくランドのイ  
ベントなどに、市内のほかの  
地域から、たくさんの方々に  
足を運んでいただきました。  
合併効果の表れだと思ってい  
ます。今後もこれまで同様、  
活気にあふれ人と人がふれあ  
いの持てる住み良いまちに  
なってもらいたいです。

## ■豊かな自然を後世に引き継ぐ市政

料金1000円の市民バスは、  
高齢者や交通弱者にとって素  
晴らしい制度だと思えます。  
ゆつくり9町の景色を眺める  
ことや地域交流もできます。  
今後は都市開発だけでなく、  
豊かな自然を後世に引き継ぐ  
ような市政運営や、市民一人  
ひとりを大切にするまちづく  
りを目指してほしいです。

久光

昭男<sup>あきを</sup>さん・68歳  
(追町・茂葉下・農業)



## ■子どもたちの声が聞こえるまちに

市のほかの地域のイベント  
や祭りの情報が広報紙を通し  
て、市内全域に伝わっている  
と思えます。そのおかげか、  
登米の秋祭りは大勢の皆さん  
に来ていただきました。子ど  
もが遊べる公園や広場がたく  
さんあれば、子どもたちの声  
が聞こえる元気なまちになる  
と思います。

吉田

正子<sup>まさこ</sup>さん・18歳  
(登米町・前小路・登米高3年)



## ■市民みんなで参加できるイベントを

市の駅伝大会になったこと  
で、津山町の中学生と交流が  
持てたので良かったです。市  
内には、休日に遊ぶ場所が少  
ないような気がします。公園  
や大きな体育館などを造って  
もらえれば、子どもやお年寄  
りが集まれると思います。市  
民みんなで参加できるイベン  
トも考えてほしいです。

千葉

健人<sup>けんと</sup>くん・15歳  
(東和町・米川9区・東和中3年)



## ■若者の定住で活気あふれるまちづくり

合併前は上下水道の料金請  
求が別々でしたが、ひとつに  
なったことで納付が楽になり  
ました。医療体制充実のため、  
高度な知識や技術をもった専  
門医を招いてほしいです。ま  
た、若い人たちが定住し、活  
気あふれるまちづくりが実現  
できるよう、働く場の確保も  
必要だと思えます。

菅原

祐子<sup>ゆうこ</sup>さん・53歳  
(中田町・表・主婦)



■子どもの医療費助成期間を独自に延長しては



佐々木 寛之さん・33歳  
 (豊里町・横町・会社員)

子どもがバスケットボールをしていますが、スポーツを通して健全に育てるためにも、より地域に密着した活動や指導者の育成を望みます。また、市内の公共事業促進にも期待します。子どもの医療費助成・児童手当支給期間を、市独自で中学終了時まで延長してもらえればうれしいです。

■乳幼児の病気、けがの応急手当講習会開催を



柴田 みわ子さん・28歳  
 (米山町・砥落・主婦)

3人の子どものいますが、合併によって保育料が値下げされたことがうれしいです。その分は、違った部分の子育てに充てています。また、保育園の昼食メニューも増えて、地元産の野菜などが多く使われるようになりました。乳幼児の病気、けがの応急手当講習会を開催してほしいです。

■年中練習ができる室内プールを造ってほしい



阿部 禅くん・12歳  
 (石越町・第2区・石越小6年)

9万人を超す市の市民になれたことがうれしいです。将来は、海上保安庁に入りたいので、市内に大学や専門学校ができればいいと思います。スポーツは水泳をしています。市内には1年を通して練習できる場所が少ないので、たくさん室内プールを造ってほしいです。

■いつまでも心のつながりがある温かいまちで



菊地 としえさん・73歳  
 (南方町・北本郷・主婦)

これまでは、町域ごとのボランティア友の会活動でしたが、先日全体で防災訓練を実施したところ、各町域から10人ずつ集まりました。大変好評で、参加した方々と交流が深まり一体感が沸きました。いつまでも地域の皆さんと心のつながりが持てる、温かいまちづくりに期待します。

第3章  
 人力

九つがひとつになった登  
 まちづくりへの挑戦が始

市民の声はま



■人と人がふれあいが持つ



阿部 和美さん・48歳  
 (津山町・西下在・会社員)

# 一人ひとりの思いやりで 素晴らしいまちづくりを





●取材を終えて

まちづくりの主役は市民皆さんです

平成17年4月1日、登米郡迫町、登米町、東和町、中田町、豊里町、米山町、石越町、南方町、本吉郡津山町の9町が合併し「登米市」が誕生しました。特集で紹介した米、畜産以外にも、野菜などの園芸作物も盛んで、林業や商工業もそれぞれ地域の特性を活かした地場産品がたくさんある魅力的なまちです。

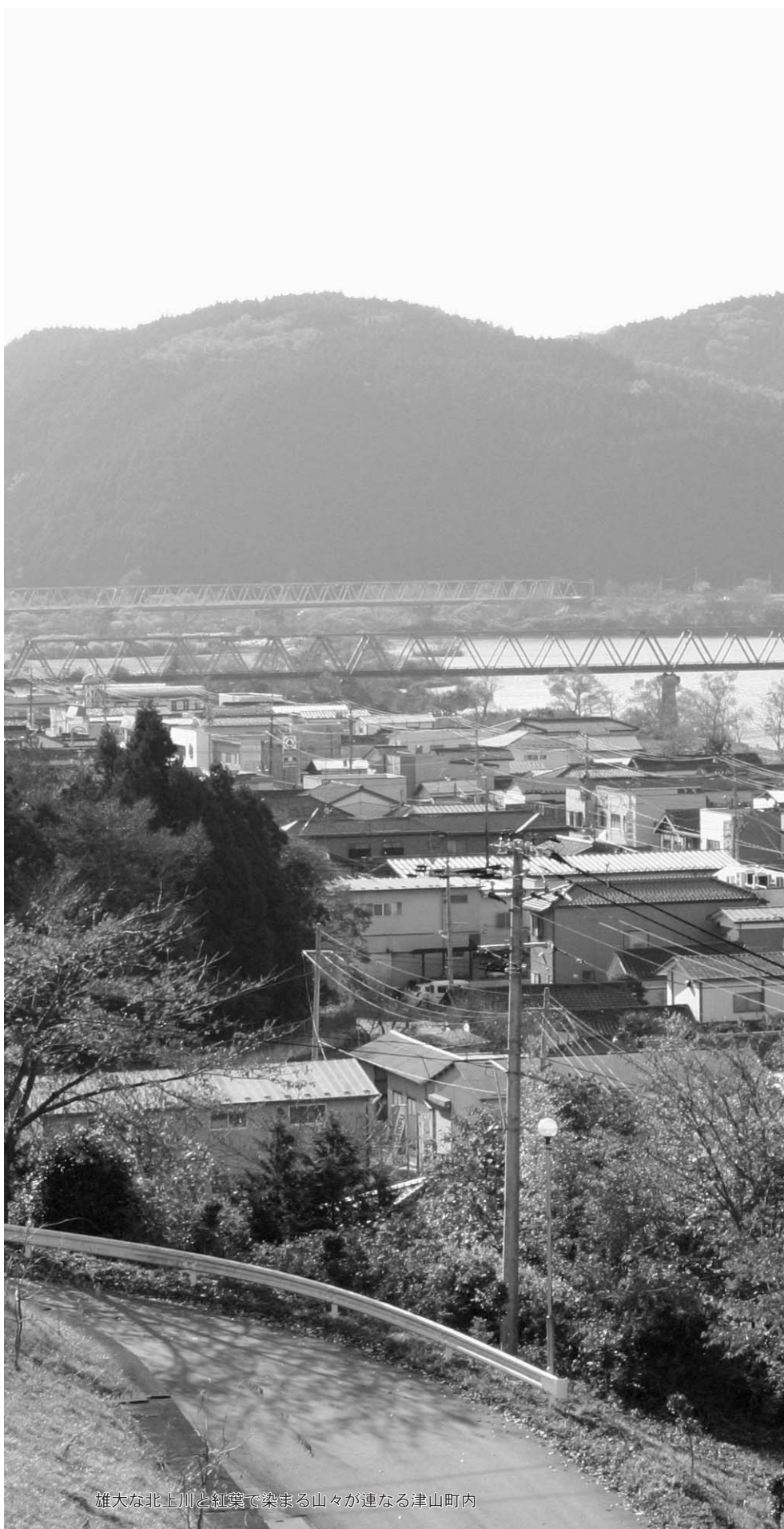
これまで、先人が築き守ってきた広大で豊かな耕土や歴史・文化資源、事業など、九つがひとつになったことでナンバーワンが増えました。人口約92,000人、面積536.38km<sup>2</sup>。9町のこれまでの歴史を引き継いで、新しいまち「登米市」が走り始めました。

今回の特集取材を通して、「登米市」にはさまざまな分野で、苦勞、努力、挑戦を重ねている人たちが多く、あらためて気付かされました。そしてその表情からは夢、希望を強く感じ取ることができました。この地域に生まれ、育ち、そして歴史的な合併を成し遂げた登米市民の力の大きさに驚いています。

ラグビーでよく使われる「ワン・フォア・オール、オール・フォア・ワン」という言葉があります。この言葉のように、みんながひとりを思いやり、ひとりがみんなを考えながらまちづくりをしていけば、きっと「登米市」は素晴らしいまちになると思います。

今後、新市建設計画やまちづくり総合計画で策定されたソフト・ハード事業が展開され、「登米市」は成長していきます。そのまちづくりの主役となるのは市民皆さんです。「広報とめ」では、皆さんの意見や要望などの声を聞き、伝え、考え、そしてまちづくりに活かし、応援していきます。

特集終わり



雄大な北上川と紅葉で染まる山々が連なる津山町内

# 登米市開市記念式典



## 登米市開市記念式典を開催

今年4月、9町の合併により誕生した「登米市」の門出を祝い、11月15日、登米祝祭劇場で登米市開市記念式典を開催しました。

式典には、旧町の三役や合併協議会委員、市議会議員、各種委員会の長らが出席。また、国会・県議会議員や隣接市町村長も参列しました。

オープニングセレモニーは、米山丸山太鼓による演奏。市章発表や表彰状、感謝状の贈呈、祝辞の後、とめ市民合唱団による記念合唱が披露されました。

式典には、来賓、受章者、各町域団体長、関係者ら約七百人が出席。オープニングは、イギリスの影武者太鼓とのジョイントコンサートをはじめ、全国の大会などで活躍している「米山丸山太鼓」の和太鼓演奏が披露されました。続いて、11月1日に制定した市章を布施市長と千葉議長を除幕により発表（次ページに詳細掲載）。井林助役が開式宣言を行い、式典が始まりました。

市長は「合併は当地域が発展するには避けて通れない道だった。合併に携わった皆さんに敬意を表し感謝します。市民皆さんの英知を借りながら、県北の中核都市を目指したい」とあいさつしました。式典では、合併に尽くされた旧町長、議会議員、合併協議会委員へ表彰状、感謝状を贈呈。産業や教育、福祉などに尽力された皆さんにも感謝状が贈られました。

終わりに「とめ市民合唱団」が水の里など3曲を歌い上げました。

# 登米市の市章が 決定しました



## 「と」をモチーフ 「豊かな実り」「元気な市民」を 表現

登米市の市章が11月1日に制定されました。

市章は、7月1日から8月31日まで公募したところ、全国各地から720点の応募があり、「市民憲章等制定検討委員会」で選考した結果、最優秀賞に深川重一さん（大阪府和泉市）の作品が選ばれ、採用されました。

デザインは、登米市の頭文字、ひらがなの「と」をモチーフにしたもの。水色が北上川、迫川や伊豆沼、長沼などの「水」、緑色は自然や田園の

「緑」、オレンジは「太陽」をイメージし、「豊かな実り」

「元気な市民」を表現しています。未来に向かって飛翔・発展する登米市、登米市民の力強さを感じさせる作品です。

深川さんには、20万円相当の登米地域の特産品が贈られます。

優秀賞の受賞者は次のとおりです。

▼海老原章さん（静岡市）濱常治さん（福岡市）阿部泰彦さん（登米市迫町）水久保義信さん（宮崎県都城市）



①とめ市民合唱団による記念合唱②合併功労者総務大臣表彰を受ける旧石越町長 稲邊正さん（旧登米地域合併協議会長）③式典では市章の発表が行われました（布施市長と千葉議長）



秋の叙勲受章者

# 永年の努力と

# 功績が認められ

2005年秋の叙勲で、市内から佐々木源太郎さん（追町・永田）、寺島勝雄さん（追町・本田）、が瑞宝双光章、勝又正則さん（豊里町・上町）が旭日単光章、佐藤幸史さん（中田町・大柳）、佐藤得志さん（東和町・米川3区）首藤東一さん（東和町・米川2区）が瑞宝単光章を受章しました。



**瑞宝双光章**  
佐々木源太郎さん（追町・71歳）

昭和28年、旧北方村消防団に入団、以来45年間の消防歴。昭和51年に追町消防団分団長、昭和55年に副団長、平成4年から団長として火災予防思想の普及・啓蒙と地域防災活動に尽力。昭和56年3月には、消防庁長官から永年勤続功労章を受章。



**瑞宝双光章**  
寺島勝雄さん（追町・77歳）

昭和32年、追町に寺島耳鼻咽喉科を開業。昭和33年、北方小学校学校医。以来47年間、管内の公立学校27校の校医として、保健衛生思想の普及、学校環境の整備充実に尽力。平成4年に(社)登米郡医師会会長。平成11年に県知事表彰、平成13年には文部科学大臣表彰を受章。



**旭日単光章**  
勝又正則さん（豊里町・83歳）

昭和56年、旧豊里町監査委員。以来20年間、代表監査委員として財務に関する事務執行および経営にかかる事業管理に万全を期し、地方自治の発展に貢献。平成5年に登米地方監査委員協議会会長、平成8年に宮城県町村監査委員協議会副会長。



**瑞宝単光章**  
佐藤得志さん（東和町・71歳）

昭和46年、宮城県県有林巡視員。以来32年間、巡視員として県有財産の保護と管理に尽力。昭和52年宮城県北たばこ耕作組合理事、平成3年から10年間、宮城県たばこ耕作組合副組合長理事を歴任。昭和56年から3期12年にわたり旧東和町議会議員として地方自治の発展に貢献。



**瑞宝単光章**  
佐藤幸史さん（中田町・71歳）

昭和31年、中田町消防団に入団、以来47年間の消防歴。平成8年に分団長、平成12年に副団長、平成14年から、団長として地域防災活動に尽力。昭和62年から2期6年間、旧中田町農業委員会委員。平成9年3月には、消防庁長官から永年勤続功労章を受章。



**瑞宝単光章**  
首藤東一さん（東和町・73歳）

昭和26年、旧米川村消防団に入団、23年間団員として活躍した後、昭和49年登米地区消防事務組合消防吏員を拝命。以来18年間にわたり、登米圏域における火災予防思想の普及・啓蒙と各種防災活動に尽力。昭和49年から消防士長、昭和56年から平成4年まで消防司令補を歴任。

# 鱒淵川を舞うホタルを表現

## 河北工芸展で佐藤勤さんが

### 宮城県芸術協会賞を受賞

河北工芸展が10月26日から31日まで、さくら野百貨店仙台店で開催され、東和町米川の佐藤勤さんの陶磁「舞踏会」が、宮城県芸術協会賞に輝きました。

工芸展は、河北新報社などが主催し今年で14回目。11部門に378点の応募があり、入賞16点、229点が入選しました。

佐藤さんは、陶芸を始めて17年のベテランで、入賞は3年ぶり2回目。7年前に初めて出展し、それ以降毎年入選

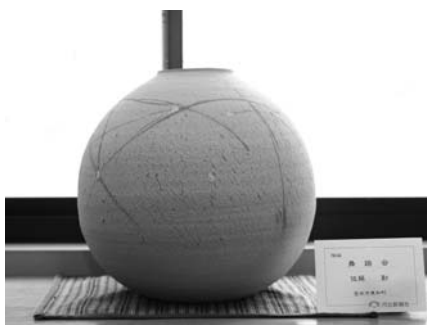
しています。

創作は、主に仕事が終わったからの時間や休日を利用して、自宅脇の作業場でろくろを回し、専用の灯油釜で焼き上げます。平成2年には行政区の仲間と穴釜を手作りで完成させ、毎年11月上旬に制作に取り組み、今年も茶碗やつぼなど、大小100点を焼き上げました。

「昔は鱒淵川付近に、たくさんホタルが発生していました。この作品は40年前に見たホタルが、1カ所に集まっ



佐藤勤さん(58歳)  
東和町・米川7区



宮城県芸術協会賞 陶磁「舞踏会」

て大きな光の玉になった情景を表現しています。これからの良い作品を作り続け、陶芸を始めたときからの夢、仲間と一緒にパリで個展を開きたい」と話しました。

そのほか市内で入選された人は次のとおりです。

#### ■入選

【陶磁】姉齒秀平さん(石越町)、菅原輝雄さん、菅原登美雄さん(以上東和町)、高瀬さな江さん(津山町)、芳賀ちよさん(豊里町)【木竹】佐々木清司さん(津山町)

## 市内出品牛が全国1位に輝く

### 平成17年度全国肉用牛枝肉共励会

日本最大の全国肉用牛枝肉共励会が10月28日、東京都中央卸売市場で開催されました。市から、和牛去勢の部に10頭(全体266頭)、和牛雌牛の部に4頭(全体165頭)を出品。第3部和牛雌牛の部に出品した千葉英軍司さんの受精卵移植による自家産の牛が、見事1位に当たる最優秀賞

に輝きました。

出品牛は、父牛が「第6栄」、母牛の父が「北国7の8」。枝肉重量435㌔、枝肉単価9,327円の高値で販売されました。母牛は現在3産で、これまでの子牛も各種共励会で上位入賞を果たしており、母牛の持つ育種価の高さと、千葉さんの飼育管理技術が相まったのが受賞となりました。

また、第2部和牛去勢の部では、千葉文治さんが出品した牛が、枝肉重量552㌔、枝肉単価6,501円で販売され、この部では2位に当たる最優秀賞を受賞しました。そのほかの入賞者は次のとおりです。

【第3部和牛雌牛の部】優良賞Ⅱ6位 高橋浩さん(南方)

【第2部和牛去勢の部】優秀賞Ⅱ9位 佐藤信也さん(石越)



千葉英軍司さん  
中田町・並柳



千葉文治さん  
迫町・舟橋

# 千葉沙紀さんが 2年連続最優秀賞

## 全国小中学校作文コンクール 県審査会



千葉 沙紀さん  
(中田町・加賀野小3年)

子どもたちの感受性や表現力を養う「第55回全国小中学校作文コンクール」(読売新聞社主催)の県審査会がこのほど開かれました。

小学校低学年の部で、加賀野小3年の千葉沙紀さんが2年連続の最優秀賞、知事賞、読売新聞社賞に輝きました。

作品は、自宅でペットとして飼っているハムスターの実話を楽しく表現した「小さな小さな大ぼうけん」。昨年9月、「ハムスケ」が脱走し、ピアノの下に隠れたり、風呂場で浴槽の水に飛び込んだりしたことを、ペットの目線で冒險談に仕上げています。

「大好きなハムスケになりきり、少しずつ書いて1週間で出来上がりました。読んだ人には楽しんでもらって、ハムスケを好きになってもらえるとうれしいです」と沙紀さんは笑顔を見せます。

担任の佐藤孝文先生は「沙紀さんは、明るくまじめでクラスのリーダー的な存在。習字や図工なども得意な生徒で、とても頑張り屋さんです」と話します。

同作品は、全国大会まで進み、2年連続の全国入選を果たしました。表彰式は今年3日に東京都で開催されます。そのほかの入賞者は次のとおりです。

■佳作【小学校高学年の部】  
目黒水海さん(佐沼小6年)

# 米山高生徒が農業の楽しさをPR グリーンツーリズム「アグリ悠遊ツアー」

米山高生徒が案内役を務める「アグリ悠遊ツアー・イン登米市」が10月22日、市内各地で催されました。

この企画は、グリーンツーリズム(農村滞在型余暇活動)を楽しんでもらい、登米市の

自然や農業などの魅力を伝えるために開催されるもので、今年で2回目。石巻や古川などから24人が参加しました。

ツアーの案内役は、産業技術科で草花の科目を選択している生徒3人。参加者は学校の農場のハウスで、



参加者に作業の手順を説明する生徒たち

葉ポタンやコニファーなどの寄せ植えや秋野菜の収穫を体験。市役所玄関前で新市誕生を記念し、プランター15つに葉ポタン40株の植栽もしました。

案内役の畑岡梨沙さん(3年・米山町)は「いろいろな地域から参加していたいただき嬉しいです。皆さんには、わたしたちが授業で9月から育てた葉ポタンを植えてもらいました。



市役所前で植栽を終えた参加者

作業の手順を説明するとき、恥ずかしくて緊張したけれど、楽しくできました」と話しました。

参加者は、道の駅みなみかたで、ニラやジャガイモなどの新鮮な地元産野菜を使用した昼食を取りながらの交流会の後、大嶽山興福寺など市内観光もしました。

米山高は来春、園芸ビジネス科を新設し、園芸の楽しさなどを実践的に学びます。



それぞれの品種の出来具合を確認

新米を味わう会（市農業振興協議会主催）が11月1日、中田町宝江ふれあいセンターで催され、農業関係者ら約70人が参加しました。試食に出された米は、JAみやぎ登米管内で生産されたひとめぼれ、ササニシキ、コシヒカリ、春陽などの環境保

# 地元の食材で秋の実り満喫

## 新米を味わう会を開催



登米市の食材に、はしが進みます

全米。伊豆沼冬水田<sup>ふゆみず</sup>んぼ倶楽部<sup>たすいぶ</sup>が生産した「冬期湛水不耕起栽培米」のコシヒカリ、（有）板倉農産がアイガモ農法で栽培した「はつかり米」のころまちななど、全部で5品種7点。地元豚肉や野菜などを使ったおかずも振る舞われました。市長は「市内の中高生がスポーツなど、各種大会で上位入賞を果たしている。また、市内産の牛が全国共励会で最優秀賞に輝くなど、この秋の市民皆さんの活躍は目覚ましい。この新米と合わせて実りの秋を存分に味わってほしい」とあいさつしました。参加者は、香りと食感を楽しみながら、炊きたての新米をおいしそうに味わっていました。

# 企業の先端技術や地場産品を紹介



## 登米市産業フェスティバルに1万5千人来場

登米地域の全産業（農・工・商）を市内外に紹介するとともに、企業間のコミュニケーションに役立てようと、登米市産業フェスティバルが11月12日、13日の2日間、迫体育館、迫公民館、中江中央公園で開催され、市内外から約1万5千人が訪れました。迫体育館に設置された51のコーナーには、誘致企業や地元企業、団体などが出展し、最先端の技術や製品などが紹介されました。また、公園内では地場産の農畜産物加工品の展示販売が行われたほか、わらロール転がしなど、楽しいイベントも多数催されました。



①地元企業の製品やイベントポスター、写真、パネルを展示②「わらロール転がし選手権」に小学生、親子連れなどの皆さんが参加③無料で米粉パンの試食が振る舞われました④多くの子どもたちが興味を示したためこ細菌着床の体験⑤米粉でピザ作り体験をしました

# 市スポーツ情報

(敬称略)

## 全国高校総体空手道競技

■開催日 8月5日(金)  
 ■会場 千葉県浦安市 総合体育館  
 【男子個人形】  
 第3位 山内智章  
 (学法福島高3年・豊里)



インターハイ団体3位に続き国体個人で3位入賞

## 国民体育大会秋季大会アーチェリー競技

■開催日 10月23日(日)  
 ■会場 岡山県備前市 日生運動公園スポーツ場 特設アーチェリー場

【少年男子個人】  
 第2位 松木俊道  
 (米谷工高3年・東和)



2年連続インターハイに出場し今年見事3位入賞

## 全日本阿武隈ウオーター大会カヌーレーシングジュニア選手権

■開催日 10月28日(金) 30日(日)  
 ■会場 福島県東和町 阿武隈漕艇場



力強いこぎで見事1位に輝いた女子カヤックフォア

【1000m】  
 (女子カヤックフォア)  
 第1位 菊地詩織、二階堂真美  
 (女子カヤックペア)  
 第2位 小野冴子、二階堂真美組  
 (男子カヤックフォア)  
 第3位 小野和宗、菅原宏、二階堂健、高橋佑輔組  
 【500m】  
 (男子カナディアンシングル)  
 第2位 鈴木裕貴  
 (女子カヤックシングル)  
 第2位 船田幸恵  
 (女子カヤックペア)  
 第2位 菊地詩織、船田幸恵組

(女子カヤックフォア)  
 第2位 菊地詩織、二階堂真美  
 小野冴子、船田幸恵組  
 以上中田中力又一部

## 交通安全高齢者自転車大会

■開催日 10月29日(土)  
 ■会場 仙台市 宮城広瀬総合運動場体育館

【団体】  
 第1位 登米地区Bチーム  
 佐々木若男、千葉政幸、佐々木勝揮、八木昭  
 (以上豊里)  
 第3位 登米地区Aチーム  
 伊藤久義、金田庄七、小竹茂、高橋三郎  
 (以上登米)



選手の皆さんが市役所へ優勝報告に訪れました

## 東北硬式空手道選手権大会

■開催日 5月29日(日)  
 ■会場 大河原町 総合体育館

【小学校4年女子の部】  
 第1位 佐藤愛珠 (南方小4年)  
 【一般男子有級の部】  
 第3位 後藤久彰(追)

## 全日本剛柔流空手道選手権大会

■開催日 10月23日(日)  
 ■会場 仙台市 宮城県スポーツセンター

【一般男子有級の部】  
 第1位 後藤久彰(追)  
 【中学生女子の部】  
 第2位 佐藤瑞姫 (南方中1年)



優勝した後藤さん(左)と2位入賞の佐藤さん





上位入賞した県防具付空手道連盟の市内選手たち

- 【形個人の部】  
 (小学生低学年男子)  
 第1位 鈴木崇司(中田)  
 (同高学年女子)  
 第2位 佐藤ひとみ(中田)  
 (一般男子)  
 第3位 石川博基(南方)
- 【組手個人の部】  
 (小学生低学年男子)  
 第1位 鈴木崇司(中田)  
 第3位 佐々木綺斗(中田)  
 菅原玲威(中田)
- (同高学年男子)  
 第2位 赤坂祐輔(迫)
- (同高学年女子)  
 第2位 佐藤ひとみ(中田)  
 (中学生男子)  
 第1位 菊池起史(中田)  
 第2位 齊藤孝博(津山)  
 第3位 鈴木仁弥(迫)
- (同女子)  
 第2位 赤坂梨奈(迫)  
 第3位 菊地香奈(中田)

全東北・北海道防具付空手道選手権大会  
 ■開催日 10月30日(日)  
 ■会場 青森県八戸市 東体育館

# 地域審議会・まちづくり懇談会を開催

## 第3回地域審議会

### ■開催日程

地域	開催日	開催時間	場所
登米	12月7日(水)	午後1時30分～	登米総合支所
中田			中田総合支所
豊里	12月8日(木)	午後6時～	豊里総合支所
米山			米山総合支所
南方	12月9日(金)	午後1時30分～	南方総合支所
石越	12月12日(月)	午後1時30分～	石越総合支所
津山	12月14日(水)	午後1時30分～	津山老人福祉センター
迫	12月15日(木)	午後1時30分～	迫公民館
東和	12月16日(金)	午後1時30分～	東和総合支所

※地域審議会はどなたでも傍聴できます。

■内容 登米市総合計画基本構想、市民バス運行試行事業の概要、地域の課題について

■問い合わせ 企画部企画調整課 ☎0220(22)2147  
 各総合支所総務課



地域審議会の模様(豊里地域)

## 第2回まちづくり懇談会

### ■開催日程

地域	開催日	開催時間	場所
豊里	12月23日(祝)	午前10時～	豊里多目的センター
津山			津山老人福祉センター
登米		午後2時～	登米公民館
東和			東和総合支所
迫	12月24日(土)	午後6時～	迫公民館
中田		中田農村環境改善センター	
米山	12月24日(土)	午前10時～	米山公民館
石越			石越総合支所
南方	12月24日(土)	午後2時～	南方公民館

※まちづくり懇談会はどなたでも参加できます。

■懇談会のテーマ 「登米市総合計画」について

■問い合わせ 企画部企画調整課 ☎0220(22)2147



まちづくり懇談会の模様(津山地域)

登米市のできごと  
おしらせします！

# TOPICS

## 練習・鍛錬の成果や 地域の伝統芸能を披露

### 芸能祭・文化祭、 秋まつりが各地区で開催

芸能祭や文化祭、秋まつりが10月から11月にかけて、市内各地区で開催されました。芸能祭では、各地域に伝わる伝統芸能や歌、踊りなどを披露。文化祭では、市内のさまざまなサークルの皆さんが、日ごろの成果や丹精のこもった作品などの展示発表があり

ました。

津山町では「つやまもくもくランド秋まつり」(同まつり実行委員会主催)が10月30日、道の駅「もくもくランド」で開催。さまざまな農産物などが並べられ、特に新米を使ったあんこもちと納豆もちが人気でした。



約800発の花火が夜空を飾りました(津山町)



直径2mの大鍋で作られた千人分の芋煮汁(石越町)

夜には、約800発の花火が打ち上げられ、もくもくランドの建物全体はライトアップで、幻想的な雰囲気になっていました。

石越町では「まるごといしこしまつり」(同まつり実行委員会主催)が11月6日、チャヤワールドいしこしで開催されました。市内外から約2,500人が来場。よさこい踊り、レクダンス、和太鼓演奏、アマチュアバンド演奏などが披露されました。

まつりの目玉は直径2mの大鍋を使った千人芋煮鍋。地元産の野菜や豚肉が入った芋煮汁が振る舞われ、人気を集めました。



町内の小学生たちが歌を披露しました(東和町)

東和町では「東和の秋まつり」(同まつり実行委員会主催)が11月6日、道の駅「林館」で開催されました。東和町内の小中学生らによる歌や踊り、恵泉会の皆さんによる太鼓演奏などが披露されました。

お楽しみクイズには子どもから大人まで約百人が参加。合併にちなんだ問題が出題され、最後まで正解した優勝者には、地場産品のセットが贈られました。

各地区で開催された芸能祭・文化祭、秋まつりは、それぞれの地区の伝統や文化、地場産品など地域色あふれるものでした。



街頭で防火啓発用ティッシュを配る防火クラブの皆さん

秋季火災予防運動の一環として、11月9日から15日まで、米山町で火災予防の啓発活動などが展開されました。

期間中は、米山町消防団と婦人防火クラブの皆さんが早朝から街頭活動を実施。交差点で「火の用心」の登り旗を掲げ、啓発用のティッシュをドライバーに配り、防火を呼びかけました。

また、各家庭の防火診断や

消防車両を使った夜間巡回を実施して、注意を呼びかけました。

婦人防火クラブ会長の武田睦美さん（米山町）は、「啓発活動を通して、少しでも火災予防に対する意識を持つてほしいです」と話しました。

空気が乾燥して、火災が発生しやすいこの季節。火の取り扱いには十分に注意しましょう。

### 米山で秋季火災予防運動

## 火の取り扱いに注意を！

## 空から眺める思い出の校舎

柳津、横山小6年生が熱気球体験



熱気球に搭乗する子どもたち

熱気球搭乗体験が11月5日、津山町の柳津小学校・横山小学校の校庭で実施され、柳津小学校から15人、横山小学校から18人の6年生児童33人が参加しました。

この企画は、みやぎ北上商

工会青年部津山支部（杉田観雄支部長）が「熱気球に乗って上空から校舎や街並みを眺め、小学校生活最後の思い出を作ってあげたい」という思いから毎年実施され、今年で8回目になります。

山元町の熱気球クラブ「永飛男」の協力のもと、風が穏やかな午前7時から約1時間搭乗。1回の飛行で4人の児童が約5分間楽しみました。

子どもたちは、上空約30メートルまで上がった熱気球から、校舎や市内の街並みを見下ろし、友達や家族たちに楽しそうに手を振っていました。

## 動物とのふれあいを楽しむ

登米で動物ふれあい教室



動物との接し方を教わる園児たち

動物ふれあい教室（登米保健所、動物愛護センター、登米市共催）が11月8日、登米幼稚園で開催されました。

教室は、小動物とのふれあいを通して動物に対する愛情

をほぐくむことを目的に開催されています。

教室には、登米幼稚園と登米保育所、北上保育園の園児89人が参加。愛護センター職員から動物との接し方を教えてもらった後、ウサギやモルモットに餌を与えたり、子犬を抱えたりして動物たちとのふれあいを楽しみました。

児童の中には、少し緊張していた子もいましたが、時間がたつにつれ、だんだんと慣れた様子で楽しそうに接していました。

参加した児童は「とてもかわい。家でも動物を飼ってみたい」と話しました。



かわいい子犬を抱えたりして楽しみました

## ゲームや会話で国際交流

### 豊里でジュニア国際塾



民族衣装を着て写真撮影をする園児

県国際交流協会が主宰するジュニア国際塾「世界と仲良しになろう！」(豊里町国際交流協会主催)が11月9日、豊里幼稚園で開催されました。豊里保育園と豊里幼稚園の



国旗や世界地図を使って母国の紹介をする3人の外国人

5歳児、豊里町国際交流協会会員ら約80人が参加。県国際交流協会職員と県内在住の3人の外国人(イタリア、タイ、中国内モンゴルの出身者)を迎えて、ゲームなどで交流をしました。  
3人は、国旗や世界地図を使って母国の紹介をした後、園児たちとあいさつの仕方やゲーム遊びを指導。遊戯の後に、内モンゴルの民族衣装を着て写真撮影をしました。  
その後、国際交流協会会員らを対象にした講話もあり、参加者は県内の国際化に関する現状の理解を深めています。

## 秋を全身で感じながら疾走

### 石越であげみちマラソン大会

第30回石越あげみちマラソン大会(石越公民館、石越地区体育協会、いしこしE.N.J. O.Y.Sポーツクラブ共催)が11月5日、石越総合運動場を主会場に開催されました。  
大会には、石越小と石越中の全校生徒と一般の部の出場者総勢514人が参加しました。各部門の男女一位の選手は次のとおりです。  
【小学1年の部】平塚絢士君、

二階堂季香さん【小学2年の部】佐藤朋輝君、菅原美羽さん【小学3年の部】金澤佑哉君、鈴木美咲さん【小学4年の部】阿部恭士君、千葉はづきさん【小学5年の部】高任龍二君、新田未希さん【小学6年の部】佐々木翔人君、阿部亜美さん【中学生の部】佐藤伸君、佐藤智美さん【一般の部】千田君男さん、佐藤清生子さん



一般、中学生の部が一齐にスタート

## 体験を通して将来を考える

### 東和中1年生が職場体験学習



こん包作業の体験をする生徒たち

東和中1年生による職場体験学習が11月7日、市内の各事業所で実施されました。  
この取り組みは、働く事の意義や将来になりたい職業を考える事を目的に開催され、興味のある仕事ごとに数人のグループに分かれて実施されました。

東和総合支所には4人の生徒が来庁。簡単な事務作業や環境に関する国際的な基準「ISO14001」のメニューとなる、分別されたリサイクル用紙のこん包作業などを職員と協力して作業に取り組みました。  
作業体験の後は、職員から市の組織や総合支所の業務内容の説明を受けました。質問の時間も設けられ、仕事をしたい楽しい事やつらい事など、職員から聞いたことを熱心にノートに書き込んでいました。



ミニ新幹線の試乗をする参加者たち

ミニ新幹線運転試乗会（宮城県民共済主催）が11月10日、南方子育てサポートセンターで実施されました。試乗会は、子どもたちが、交通マナーに関心を持ってもらうことを目的に実施しています。

市内から34組79人の親子が参加。参加者は会場内に敷かれた特設線路を走るミニ新幹線に乗って、楽しい時間を過ごしました。

ミニ新幹線は、一度に5組の親子を乗せ、大人が歩くくらいの速さで全長約80mの線路を1周します。

終了後には、参加者全員にぬりえや鉛筆などの記念品が贈られました。

参加した子どもたちは「かっこいい新幹線に乗れて面白かった。また乗ってみたい」と話しました。

### 南方でミニ新幹線運転試乗会

## ミニ新幹線がやってきた！

## 登米市のずんだ餅が大人気

2005中田の物産展in横浜



大盛況だったずんだ餅の試食会

2005中田の物産展in横浜（横浜市泉区中田連合自治会主催）が11月13日、横浜市で開催されました。この催しは、中田町が平成5年から交流している横浜市泉区中田地区との交流事業の一環で、同地区文化祭に参加し出店したものです。

市職員やみやぎ北上商工会、農産加工グループら17人が参加。地場産品を4トトラックいっぱいを持参して、販売や試食会をしました。

低農薬で栽培された新米や野菜、果物、油ふ、こうじ味噌などが大好評で、瞬く間に完売しました。

また、「みやこがね」を使ったずんだ餅の試食には、長蛇の列ができていました。訪れた方々は、登米市産の豊富で新鮮な農産物を堪能していました。

## 伝統の唄と踊りを競い合う

迫で伊達なおいとこ踊り宮城大会



子どもも多数参加し、大人顔負けの踊りを披露しました



おいとこ節の唄に合わせて踊る参加者

第15回伊達なおいとこ踊り宮城大会（奥州森邑十三講秋祭り奉賛会主催）が11月13日、森公民館で開催されました。市内外から4歳から88歳までの25組が参加。子どもも多数参加し、大人顔負けの堂々とした唄と踊りを披露しました。会場からは拍手と歓声が起っていました。

大会で一番の踊り手に贈られる宮城県知事賞は、伊藤円香さん（登米町）が受賞しました。

「おいとこ踊り」は、江戸時代に現在の千葉県芝山町が発祥地とされる座敷踊りで、唄・踊りとも地域ごとに少しずつ異なります。

現在市内では「森邑おいとこ保存会」「大網おいとこ保存会」「巻おいとこ保存会」の3団体が、伝承保存活動をしています。



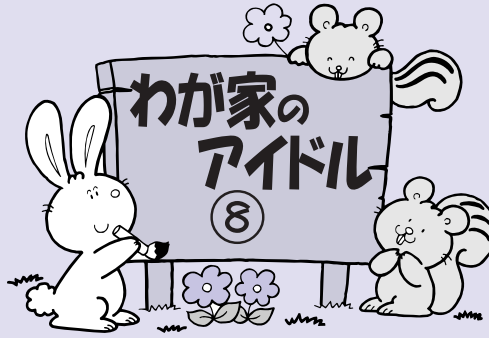
こうせい  
大森 光惺くん

(津山町・横山9区)

平成16年12月8日生まれ(1歳)

康弘さんの長男

アンパンマンとキティちゃんが好き  
な玲奈ちゃん。アンパンマンの  
おもちゃで二人のお兄さんといつ  
も仲良く遊んでいます。音楽に合  
わせてダンスをするのが得意な玲  
奈ちゃんは、イチゴとチョコレート  
が大好きです。



よちよち歩きができるようになった  
光惺くんは、3歳になるお姉さん  
とかくれんぼや鬼ごっこをして、  
仲良く遊んでいます。近所を散歩  
したり、ドライブに行くのが好き  
です。食べ物では、おかゆと  
ヨーグルトが好きな光惺くんです。



れな  
及川 玲奈ちゃん

(南方町・柳沢)

平成15年10月27日生まれ(2歳)

憲一さんの長女

朋哉くんは飛行機と空が大好きで、  
おもちゃの飛行機でいつも遊んで  
います。特技は、飛んでいる飛行  
機や鳥などをすぐに見つけること  
です。夜の星や月を見るのも好き  
な朋哉くん。食べ物では、イクラ  
やメロン、イチゴが大好きです。



ともや  
及川 朋哉くん

(中田町・本町畑中)

平成15年3月23日生まれ(2歳)

博勝さんの長男

# 市民の広場

市民の広場のコーナーでは、  
掲載を希望する方や情報を  
募集しています。

総務部総務課広報係まで  
TEL 0220 (22) 2090  
FAX 0220 (22) 9164  
E-mail koho@city.tome.miyagi.jp

# ぼくがわたしの夢 ⑧

## 警察の特殊部隊に入って

### 平和を守りたい

「警察の特殊部隊に入って、悪い事をした人たちを捕まえて平和を守りたい」と話すひろとし君。

小学1年生のときに、警察官をしているおじさんの制服姿を見たこと、テレビでバスマジャック事件を解決させた特殊部隊の姿を見たことが目指すきっかけとなったそうです。

小さいころから正義感が強

く、どんな人にもやさしく接するため、普段もクラスメイトから頼られることが多いそうです。

「特殊部隊で活躍するのも夢ですが、パトカーに乗ってまちの中のパトロールもしてみたいです」と話します。

小学3年生のころから週に1回、水泳教室に通っています。練習では、1時間で1メートル泳ぎ、得意な泳ぎはバタフ



高橋 ひろとし君 (桜岡小5年生)

ライです。休みの日は、いつもお父さんといっしょに海や近所の川へ釣りに行くことが多いそうです。

どんなことにも挑戦し、意欲的に取り組む性格のひろとし君。演劇も得意で、今年の学習発表会では主役を熱演しました。

「中学校に入ったら、剣道や柔道を習って、体をたくさん鍛えたい。弱い人や困っている人たちを助けるやさしい警察官になりたいです」と抱負を話しました。

(米山町・相ノ山 高橋 とし子さん方)

# まちの若い衆 ⑧



藤原 和斗さん (22歳)  
迫町・平柳

▼身長と血液型 175センチでA型です。

▼現在は 米山町の榊ミナミに勤めて4年目になります。木工部でパレットを作っています。

▼自分の性格 一度決めた事は最後までやり通す性格だと思っています。周りの友達からはよく凝り過ぎるといわれます。

▼休日は 友達と車で仙台に買い物によく出かけます。旅行と温泉が好きなので、東北各地の人気スポットや温泉などによく行きます。

▼趣味は 和太鼓の演奏です。創作和太鼓グループ「森風輝龍太鼓」で週に2回活動しています。和太鼓の響きに魅せられ10年になります。作曲もしていて、県の和太鼓フェス

ティバルでは毎年新曲を発表しています。現在、来年の大会に向けて新曲を制作中で。▼理想の女性像 落ち着いていて、家庭的な人がいいです。自分についてきてくれる人がいいですね。

▼結婚は 25歳までにはしたいです。

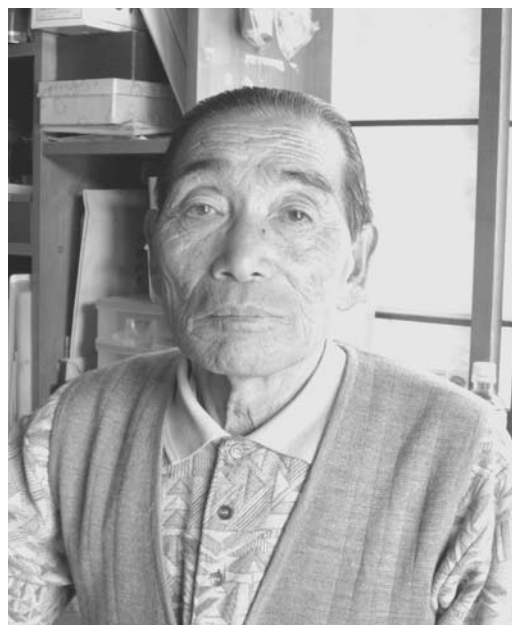
▼今やってみたいこと 今まで自分が作曲した和太鼓のCDを出したい事と、三味線にも興味があるので覚えてみたい事です。

▼ひとこと 毎年県の和太鼓フェスティバルや市内の催しに参加しています。ぜひ見に来てください。「森風輝龍太鼓」では、随時メンバーを募集しています。いっしょに和太鼓を叩いてみませんか。

# アップアップ

⑧

## 伝統神楽「鳥舞」を 後世に伝えたい



二階堂 五郎さん (77歳)  
石越町・遠澤

「神楽を舞うのが大好きで、22歳のとき長下田神楽保存会に入会しました」と話す二階堂さん。  
二階堂さんは、昭和57年から、石越小学校大運動会の恒例種目となっている鳥舞の指導を行っており、これまで指導をした児童は約2,800人を数えます。

指導を始めたきっかけは、二階堂さんが石越小学校に業務員として働いていたときでした。運動会の種目を検討していたとき、鳥舞を紹介したところ、早速採用となったことが始まりです。  
「当時は、まつりやイベントなどで舞を披露していましたが、小学生が神楽を舞うことは珍しいことでした。ほかまなども無くほかの町まで借りに行ったり、鳥兜を制作するにも夜遅くまですべて手作業で作りました」と長年愛用している鳥兜を眺めながら当時の模様を話しました。  
現在は長下田神楽保存会副会長として、後輩の指導や鳥舞の普及活動に力を入れている二階堂さん。  
「約百人の児童たちを一斉

に指導するのは大変ですが、広い校庭いっぱいには舞う姿を見ると感無量になります。これからも、多くの人に神楽の良さを知ってもらい、伝統芸能を後世に伝えるため後継者育成に力を入れていきたい」と抱負を語りました。



鳥舞を披露する二階堂さん

## 文芸コーナー

### 短歌

魅せられて手塩にかけし寒蘭の  
初花清し匂いすがしく

山形昭一郎(津山)

待ち受けし女の孫生れて抱きをれば  
我が遣伝子の伝はる思い

佐々木せい子(追)

村が町に町から登米市と名が移り  
八十路を生きて市民となりぬ

山野 鳩子(追)

晩夏なれど日中に焼ける暑にも  
夕べは虫の鳴く声を聞く

佐藤えみほ(米山)

長年に更新親しき免許証  
返上なせば記念品賜わる

千葉たかお(米山)

何事もなきは淋しも夕暮れの  
風にはためく鯛やき屋の旗

折居由紀子(米山)

嵐さり夜明け待つよな大蟬が  
高々と啼く紫の夜明け

阿部ふみ子(米山)

秋牡丹花芽見つけし喜びを  
「話す友との」ひととき昏れる

主藤 恵子(米山)

掃き寄せし落葉の中より「ピンピン」と  
秋の兆しを虫達に想う

水野トヨコ(米山)

テレビにて栗駒の紅葉放映せるに  
行けば早かりいわかがみ平

津花 秀喜(米山)

### 俳句

晴れ渡る空に白鳥渡り来る

猪股トミ子(東和)

木の葉浮く冷き流れ胡桃洗ふ

及川 淑子(東和)



# サークル紹介

⑧

## 及川カラオケ愛好会



会員の歌をみんなで聴いている愛好会の皆さん

愛好会は、平成6年に全日本音楽互恵審査協会に加入しているメンバーを中心にサークルとして立ち上げ、活動を始めました。

現在会員は10人で、及川さんは代表兼師範役。毎週土曜日の午後7時から南方就業改善センターで活動しています。「歌を通してふれあいやつながりを深め、健康で楽しく生活を送ることを目的に活動をしています」と及川さんは話します。

の皆さんは「師範の指導のおかげで、歌うことが以前より好きになりました」と話します。

休憩時間には、持ち寄ったお茶やお菓子を食べながらコミュニケーションをとっています。

毎年、花菖蒲まつりや文化協会の催し、全日本音楽互恵審査協会主催の全国大会に参加して練習の成果を披露しています。

「自分の歌い方の良い部分を伸ばし、悪い部分を直すことで歌をもっと好きになつてもらいたい。これからも歌をみがいて心をみがくをモットーに活動していきます」と抱負を語ります。歌が大好きな人、歌に興味のある人は、及川さんまでご連絡ください。



代表 及川 登喜男さん  
ときお  
南方町・一ノ曲  
連絡先 0220 (58) 4222

### ●●文芸作品募集●●

俳句、短歌、川柳いずれか1カ月1作品。締め切りは毎月10日。住所、氏名、電話番号を記入してご応募ください(作品には必ず読みがなを付けてください)。応募者多数の場合は抽選で掲載しますのでご了承ください。

【あて先】〒987-0511  
登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1  
登米市総務部総務課広報係  
☎0220 (22) 2090  
FAX0220 (22) 9164  
E-mail:koho@city.tome.miyagi.jp

※応募者多数のため抽選で掲載しました。ご了承ください。

古稀なかば厚化粧してレクダンス  
欠席の代筆届く傘寿の会  
会の星文学少女は九十歳  
田満に市町村合併天高し  
佐藤よしの(石越)  
武内 弘也(中田)  
千葉 青柳(迫)  
桜山 南仙(迫)

### 川柳

行く秋や北上川の曲大らかに  
神無月北上川縁寄せし舟ひとつ  
木犀の俄に香る作場道  
黄金穂の沃野貫く大河あり  
葭實かけ匂ふ鰻の赤幟  
草紅葉飼犬顔を埋めおり  
虫の秋気構へもなく生きておる  
行く秋や晝一筋日射しのぶ  
逝く秋や葬家の札の楷書書き  
栗おこわ山家育ちの妻の自負  
秋澄むや郵便受けに音がして  
四人目の孫七五三疲れけり  
及川 裕子(東和)  
赤松 興(東和)  
二木ゆきこ(中田)  
大坂 京治(中田)  
熊谷 慧(中田)  
酒井みつ子(中田)  
菊地 ヤイ(中田)  
春日 悦子(東和)  
二木ゆきこ(東和)  
及川 寛志(東和)  
大坂 十縫(東和)  
山田 繁(登米)

# 健康 & 福祉

## インフルエンザを予防しましょう

インフルエンザにかかると、38度以上の熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状が強く、普通の風邪と同様に、のどの痛み、鼻水などの症状も見られます。高齢者や小児、呼吸器や心臓などに慢性の病気を持つ人は症状がひどくなることがあるので、十分注意が必要です。

インフルエンザの予防は、手洗い、うがいが基本です。

また、睡眠を十分にとることやバランスよく栄養をとることも大切です。重症化防止のための予防接種も有効です。

流行の時期になりましたので、自分でできる予防を心掛けましょう。

## 「障害福祉のしおり」について

障害のある方が必要とするサービスや手当、減免制度などを案内した「障害福祉のしおり」を作成しました。各総合支所市民福祉課福祉係で無料配布していますので、ご利用ください。

【問い合わせ】福祉事務所社会福祉課  
☎0220 (58) 5551

## 障害者就業相談のお知らせ

【相談日】12月20日（火）

【場所・時間】中田総合支所 午前10時～正午  
登米保健福祉事務所 午後2時～4時

【申し込み】予約制です。お住まいの総合支所市民福祉課福祉係へ申し込みください。

【問い合わせ】

福祉事務所社会福祉課  
☎0220 (58) 5551  
各総合支所市民福祉課



大切な“いのち”を守るため  
献血にご協力ください



月 日	場 所	受付時間	献血種類
12月5日(月)	みやぎ生協加賀野店	13:30～16:00	全血
12月14日(水)	南方総合支所	10:00～12:00 13:00～16:00	全血

【問い合わせ】市民生活部健康推進課  
☎0220 (58) 2116

# 12月の休日当番医・健康相談日

休日急患当番医 ☎0220 (22) 2084 (医師会)			
12/4(日)	川村 医院	登米町	☎0220 (52) 2166
11(日)	おおともクリニック	津山町	☎0225 (68) 3210
18(日)	桜井 医院	登米町	☎0220 (52) 3936
23(祝)	やすらぎの里サンクリニック	南方町	☎0220 (29) 6060
25(日)	上杉皮膚科医院	迫町	☎0220 (21) 1380
31(土)	新田診療所	迫町	☎0220 (28) 3398
	わたなべ内科クリニック	迫町	☎0220 (21) 5335
1/1(祝)	佐藤内科医院	迫町	☎0220 (22) 2160
	八嶋中央診療所	石越町	☎0228 (34) 2013
2(月)	三浦消化器内科	中田町	☎0220 (34) 3611
	遊佐内科胃腸科医院	迫町	☎0220 (22) 2177
3(火)	島 医 院	南方町	☎0220 (29) 6056
	八木小児科医院	迫町	☎0220 (22) 2566
診療時間 9:00～17:00 休日・夜間診療案内 ☎0229 (24) 2267 (24時間)			

登米保健福祉事務所 ☎0220 (22) 6115		
12/13(火)	引きこもり・思春期専門相談	☎0220 (22) 6118
15(木)	認知症専門相談	☎0220 (22) 6117
21(水)	アルコール家族教室	☎0220 (22) 6118
随時	エイズ相談	☎0220 (22) 6119
※予約が必要です。 ※日程など変更する場合がありますので、予約の際に電話で確認ください。		



# 12月の保健カレンダー

※時間は受付時間

迫 迫保健センター ☎0220 (22) 5554			登米 登米総合支所市民福祉課 ☎0220 (52) 5054			東和 東和総合支所市民福祉課 ☎0220 (53) 4112		
5(月)	離乳食・栄養相談日 子育て開放日	9:30~12:00	7(水)	わいわい広場、健康 相談(栄養相談)	10:00~11:30	7(水)	離乳食教室	10:00~10:15
8(木)	離乳食教室	8:30~9:30	21(水)	わいわいサークル	10:00~11:30	12(月)	総合健康相談	9:30~16:00
15(木)	2歳児歯科健診	8:30~13:15				22(木)	こころの相談	13:30~16:00
26(月)	健康相談	9:00~11:00						
中田 中田総合支所市民福祉課 ☎0220 (34) 2313			豊里 豊里総合支所市民福祉課 ☎0225 (76) 4113			米山 米山総合支所市民福祉課 ☎0220 (55) 2112		
1(木)	乳がん検診(石森・ 宝江)	8:00~8:30	2(金)	何でも健康相談	9:30~11:30	5(月)	健康相談	9:00~11:30
6(火)		9:30~10:00 12:00~12:30		こころの相談室	13:15~17:00	15(木)	いきいき会	9:15~9:30
7(水)	定例健康相談	9:00~11:30	8(木)	離乳食相談	9:45~10:00	22(木)	こころの相談	9:30~15:00
20(火)	健康ステップ教室	13:15~13:30						
22(木)	離乳食教室 (6~7カ月児)	13:00~13:10						
石越 石越総合支所市民福祉課 ☎0228 (34) 2112			南方 南方総合支所市民福祉課 ☎0220 (58) 2113			津山 津山総合支所市民福祉課 ☎0225 (61) 5011		
2(金)	健康アップセミナー	9:00~9:30	2(金)	健康学習会	8:30~9:30	12(月)	健康相談(フィットネスクラブ)	9:00~16:00
8(木)	認知症・心の相談	10:00~15:00	15(木)	子育て相談	要予約	13(火)	心の健康相談	9:30~11:30
12(月)	総合相談	9:00~16:00	16(金)	健康学習会	9:30~10:00	16(金)	まめっこ広場	9:30~10:00
13(火)	離乳食相談	9:30~9:45	22(木)	心と体の相談	要予約	21(水)	離乳食教室	9:30~9:45
22(木)	2歳児歯科健診	9:15~9:30						
23(祝)	ちゃれんじキッズ	9:30~10:00						

◇乳幼児健診は各ブロックごとに実施します。

ブロック	健診名	乳児健診 (4~5カ月児)	1歳6カ月児健診 (1歳6~7カ月児)	3歳児健診 (3歳6~7カ月児)
①迫		7日(水) 8:30~13:00 迫保健センター	21日(水) 8:30~13:00 迫保健センター	14日(水) 8:30~13:00 迫保健センター
②東和・中田・石越		15日(木) 13:00~13:10 中田保健福祉会館	14日(水) 12:30~12:45 中田保健福祉会館	16日(金) 12:30~12:45 中田保健福祉会館
③米山・南方		22日(木) 12:30~12:45 米山総合保健福祉センター	8日(木) 12:30~12:45 南方保健センター	13日(火) 12:45~13:00 米山総合保健福祉センター
④登米・豊里・津山		15日(木) 13:15~13:30 津山ふれあいセンター	14日(水) 13:00~13:15 登米保健センター	20日(火) 13:00~13:15 豊里健康管理センター

**母子健康手帳の交付**

毎週月曜日 8:30~11:30

各総合支所市民福祉課保健係で交付します。

※月曜日以外においでの際は、事前にご連絡ください。

- ・ 検診は指定された場所で受けてください。
- ・ 不明な点がございましたら、お住まいの各総合支所市民福祉課保健係までお問い合わせください。



小俣日向歩ちゃん  
(南方町山成・光浩さん)



大友和恵ちゃん  
(米山町六軒屋敷・孝吉さん)



氏家愛生ちゃん  
(米山町清水・良信さん)



千葉陽樹くん  
(米山町相ノ山・英樹さん)



11月18日までの3歳児健診(3歳6カ月~7カ月児)でむし歯がなかった子は、市内6地区で60人中28人でした。



遊佐愛ちゃん  
(迫町山の上・晃さん)



小野寺駿介くん  
(迫町駒林・勉さん)



芦名未都ちゃん  
(南方町細川・徳彦さん)



遠藤麗菜ちゃん  
(南方町沢田・寛之さん)



佐藤大空くん  
(迫町錦東・勝さん)



阿部快飛くん  
(迫町新町・秀樹さん)



黒沼凜ちゃん  
(迫町駒木袋・康充さん)



佐々木秀都くん  
(迫町品の浦・弘樹さん)



伊邊夢くん  
(迫町三方島・学さん)



伊藤萌ちゃん  
(中田町白地・勝さん)



阿部航聖くん  
(迫町下舟丁・将さん)



尾形陸斗くん  
(迫町萩洗・譲さん)



田村隆翔くん  
(迫町光ヶ丘東・宏哉さん)



佐藤未来くん  
(迫町錦東・勝さん)



高橋志歩ちゃん  
(中田町町・光昭さん)



佐藤茜ちゃん  
(中田町十文字・憲治さん)



沼倉遥河くん  
(中田町上沼新田・裕子さん)



高倉尊くん  
(中田町東・源さん)



阿部菜々海ちゃん  
(中田町本町畑中・邦恵さん)



阿部侑輔くん  
(東和町米谷7区・郁夫さん)



阿部侑佳ちゃん  
(東和町米谷7区・郁夫さん)



白岩大空くん  
(東和町米谷8区・登世司さん)



畠山倫くん  
(石越町駅前・るり子さん)



二階堂洗佑くん  
(中田町寺山・賢一さん)

## 人権相談所を開設します

12月4日から10日は人権週間です。期間中、人権問題で悩んでいる人のため人権相談所を開設し相談に応じます。相談は無料で秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

開設日	場 所
12月6日 (火)	米山農村改善センター 豊里多目的研修センター
12月7日 (水)	登米保健センター 迫公民館
12月8日 (木)	米谷公民館 石越総合支所
12月9日 (金)	津山公民館 南方公民館

**【時間】** 午前10時～午後3時

◆登米人権擁護委員協議会では、毎週水曜日と木曜日(休日は翌日)、仙台法務局登米支局内に相談所を開設しています。ご利用ください。

**【問い合わせ】** 登米人権擁護委員協議会(仙台法務局登米支局内)  
☎0220 (52) 2070

## 道の駅「林林館」からのお知らせ

◆キルトサークル・パッチワークキルト展

**【日時】** 12月16日(金)～19日(月)  
午前10時～午後3時30分

**【場所】** 林林館2階 展示コーナー

**【問い合わせ】**

林林館 ☎0220 (45) 1821

森の茶屋 ☎0220 (45) 1218

◆森の茶屋感謝セール

**【日時】** 12月18日(日)  
午前10時～午後2時

**【場所】** 森の茶屋前広場

**【内容】** 豚汁サービス、しめ縄作り体験ほか

**【問い合わせ】**

森の茶屋 ☎0220 (45) 1218

## 親子クッキング参加者募集

はっと&お子ちゃまランチを作ってみませんか。

**【日時】** 12月26日(月)

午前10時～午後2時

**【場所】** 県立迫養護学校

**【参加費】** 1人300円

**【対象者】** 障害児(中学生まで)とその家族

**【持ち物】** おわん、皿、はし、手ふき用タオル、エプロン、上靴

**【申込方法】** 電話またはFAXで申し込みください。

**【申込締切】** 12月15日(木)

**【問い合わせ】**

NPOドラ・ぼけっと事務局

☎090 (4550) 0665

FAX0220 (22) 0558



## 裁判所からのお知らせ

12月の広報テーマは「家庭裁判所の成年後見の手続」です。詳しくは、最高裁ホームページをご覧ください。

**【URL】** <http://www.courts.go.jp/>

**【問い合わせ】** 仙台地方裁判所

☎022 (222) 6111

おねがひ  
乾燥機のかわらにこたつを使うのは  
やめましょう。

財団法人 **東北電気保安協会**

## 登米祝祭劇場 12月のイベント情報

登米祝祭劇場  
☎0220 (22) 0111

### ◇佐々木めぐみ日本画・粘土展

1日(木)～24日(土)

午前10時

**【問い合わせ】**

登米祝祭劇場

☎0220 (22) 0111

### ◇米岡小・石越小ジョイントコンサート

3日(土) 午後2時

**【問い合わせ】**

石越小学校

☎0228 (34) 2012

### ◇迫コーラス「エコー」30周年記念コンサート

4日(日) 午後1時30分

**【問い合わせ】**

迫コーラスエコー

☎0220 (22) 2837

### ◇ハッタ音楽教室ホームコンサート

10日(土) 午後2時30分

**【問い合わせ】**

ハッタ音楽教室

☎0220 (22) 9606

### ◇とめ「水の里」合唱フェスティバル

11日(日) 午後1時30分

**【問い合わせ】**

フェスティバル実行委員会

☎0220 (34) 2005

### ◇アンサンブルコンテスト宮城県大会 予選登米地区大会

17日(土) 午前10時

**【問い合わせ】**

県吹奏楽連盟登米支部

☎0220 (22) 2022

### ◇どリーむコンサート

23日(祝) 午前10時30分

**【問い合わせ】**

佐藤 美智子

☎0220 (34) 3012

### 第1回登米市水の里杯 空手道競技大会

幼児から高校生までの子どもたちが、組手や形で競います。日ごろの練習成果をご覧ください。

【日時】12月11日（日）

午前9時競技開始

【場所】登米総合体育館

【問い合わせ】大会事務局 藤原

☎090 (9421) 3395

### 第1回登米市民卓球大会

参加者を募集します。

【日時】12月18日（日）

午前9時試合開始

【場所】中田総合体育館

【申込期限】12月9日（金）

【申し込み・問い合わせ】

大会事務局 佐藤

☎0220 (34) 6212

### 社会保険相談所開設

健康保険、国民年金など社会保険全般について相談に応じます。

【日時】12月21日（水）

午前9時10分～正午、

午後1時～3時30分

【場所】迫公民館

【問い合わせ】古川社会保険事務所

☎0229 (23) 1200

## 区画整理工事とそれに伴う通行止めのお知らせ

経営体育成基盤整備事業「米谷地区」区画整理工事に伴い、通行止めを行います。

また、湛水防除事業「細待井地区」の米谷導水路工事においても通行止めを行います。詳細については工事看板などでお知らせします。

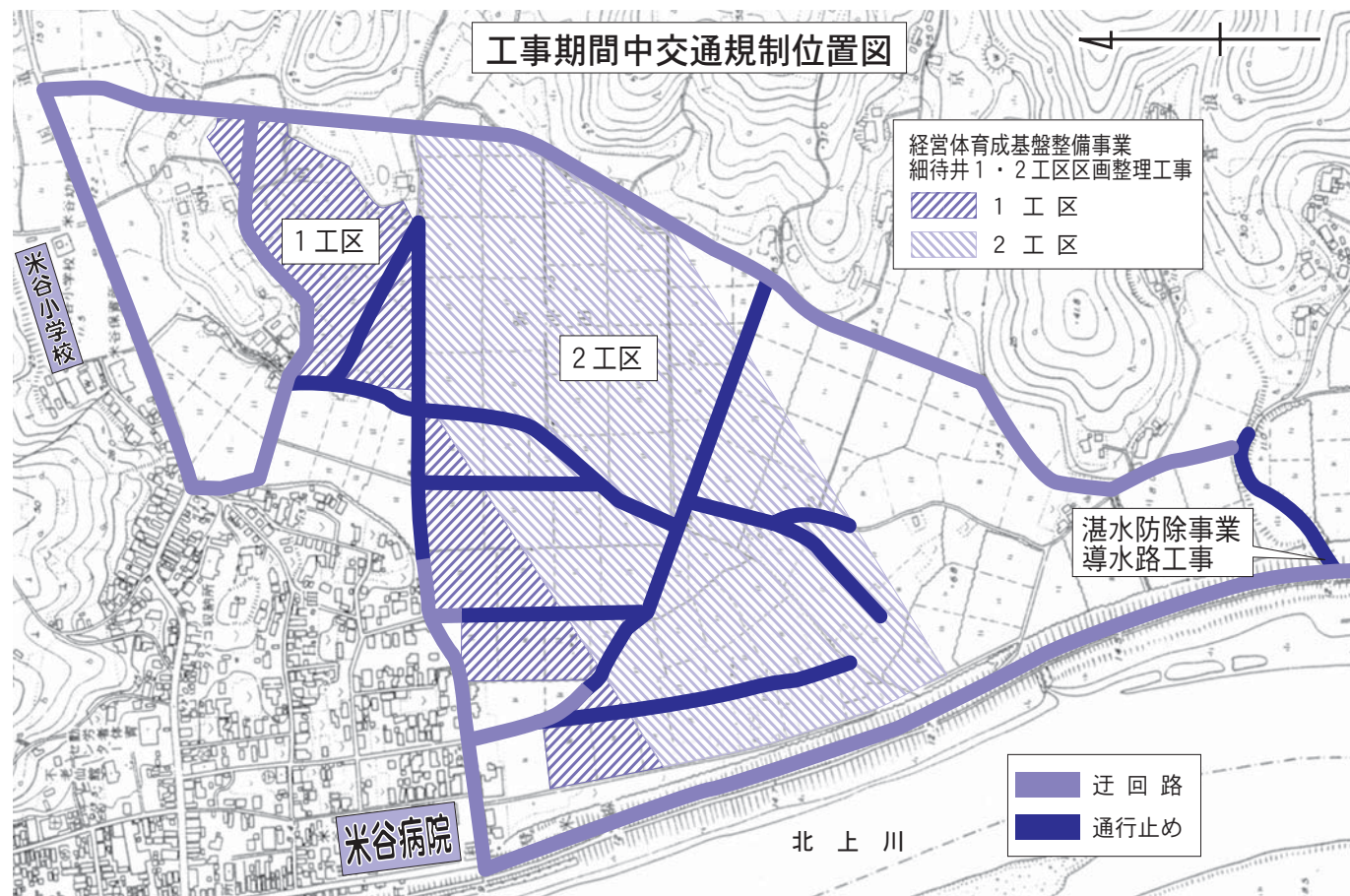
工事期間中はご不便をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

#### 【通行止期間】

**米谷地区（細待井1・2工区） 平成17年12月上旬～平成18年5月下旬予定**

**細待井地区 平成17年12月上旬～平成18年3月下旬予定**

【問い合わせ】県登米地方振興事務所 農業農村整備部 ☎0220 (22) 6111 内線481



## 国民年金だより

### 納めた国民年金保険料は控除の対象になります

国民年金の保険料は、所得税や住民税を計算する際に、全額が社会保険料控除の対象として、所得金額から差し引かれます。

控除の対象となるのは、平成17年1月から12月までの1年間に納めた保険料の合計額です。過去に保険料を納めていなかった期間や、免除を受けていた期間分を納めた場合も対象になります。

また、国民年金の上乗せ納付を支給する国民年金基金に加入されている方についても、掛け金の全額が控除の対象になります。

確定申告をするときは、控除証明書を添付し、手続きを行ってください。

### 年金受給者が亡くなったときは速やかに届け出を

国民年金や厚生年金保険を受けている人が亡くなったときは、遺族の人が「年金受給権者死亡届」を社会保険事務所へ届けなければなりません。

この届け出が遅れたり、忘れてしまうと、死亡後も年金が支払われてしまいます。多く支払われてしまった年金は、過払いとして後で遺族の人に返していただくこととなります。

このようなことにならないように「年金受給権者死亡届」は速やかに届けることが必要です。

なお、次の年金の場合は各総合支所市民福祉課が受付窓口になります。

- 第1号被保険者期間、第3号被保険者期間、60歳以上65歳未満、20歳前後などに初診日のある障害基礎年金の受給者が死亡したとき
- 遺族基礎年金のみの受給者が死亡したとき
- 寡婦年金の受給者が死亡したとき

【問い合わせ】 市民生活部市民課 ☎0220 (58) 2118  
古川社会保険事務所 ☎0229 (23) 1200

## 新刊紹介 迫図書館 ☎0220 (22) 9820

### ■「魔王」 伊坂幸太郎／著

大人向け



未来は青空か、荒野か。世の中の流れに立ち向かう兄弟の物語。

### ■「へんしんマラソン」 あきやまただし／著

子ども向け



走るとなぜか変身しちゃう、ふしぎなマラソン大会。

### ■「ティモシーとサラともりのようせい」 芭蕉みどり／著



ティモシーとサラが森にでかけると、ふしぎな少年に会いました。

※たくさん新刊が入りました。市ホームページをご覧ください。



## 三陸縦貫自動車道説明会

三陸縦貫自動車道桃生登米道路の事業計画について説明会を開催します。

【日時】 12月20日 (火)  
午後6時30分～8時

【場所】 登米公民館

【対象】 市内在住の希望者

【施行予定地】

石巻市桃生町太田字北後地内～  
登米市中田町浅水字新十二号地内

【問い合わせ】

国土交通省東北地方整備局  
仙台河川国道事務所 用地第二課  
☎022 (248) 4131 内線557

## 仙台法務局からのお知らせ

12月26日(月)に仙台法務局迫出張所と登米支局が統合されます。

統合後は、迫出張所で取り扱っていた土地・建物などの不動産に関する登記は、登米支局で取り扱うこととなります。詳細についてはお問い合わせください。



【問い合わせ】 仙台法務局登米支局  
☎0220 (52) 2070

## 善意に感謝します

市に対し寄付をいただきました。

- ◆テラサワ整骨院開院20周年と登米市誕生を記念して  
寺澤 豊志 様 (豊里)  
桜の苗木 40本、梅の苗木 10本
- ◆若草山公園の整備のため  
首藤 誠 様 (東和)  
白樺苗 100本
- ◆火災予防広報による防火活動のため  
榑きむら葬儀社  
社長 木村 紫朗 様 (米山)  
トヨタヴィッツ 1台
- ◆登米市の文化振興のため  
榑ぎょうせい  
伊藤 陽司 様 (東京都)  
林武作リトグラフ「十和田湖」1点
- ◆佐沼ロータリークラブ創立40周年記念と登米市誕生を記念して  
佐沼ロータリークラブ創立40周年記念事業実行委員会 様 (迫)  
中村博直作ブロンズ像「炎夢」1体
- ◆もくもくランドを訪れた人のため  
佐々木 卓蔵 様 (津山)  
「木のぬくもりをあなたに」看板3枚
- ◆環境づくりに役立つよう  
ボーイスカウト迫第一団 様 (迫)  
山茶花10本
- ◆登米病院の経営と患者さんのため  
千葉 洋 様 (登米)  
現金10万円・車いす1台
- ◆医療機器充実のため  
三浦眼科医院  
院長 三浦 俊之 様 (中田)  
八重氏マイクロ虹彩剪刀1本
- ◆災害用緊急用品収納専用倉庫  
鉄砲丁区親交会 様 (迫)  
簡易倉庫1基
- ◆防犯に役立つよう  
高橋 輝夫 様 (迫)  
防犯灯1基
- ◆戦争を知らない子どもたちに  
鮫名 昭子 様 (中田)  
原爆パネル40枚

ありがとうございました。  
(9月30日現在)

## 浄化槽の設置を応援します

市では、水質汚濁防止と生活環境の向上のため、個人住宅で浄化槽の設置を希望する場合に、次の条件で支援を行っています。

### ◆浄化槽整備推進事業 (市が浄化槽を設置して維持管理する事業)

**【対象区域】** 公共下水道認可区域外や農業集落排水事業区域外の地域

**【設置対象者】** 市内に居住する個人または市内に居住予定の個人

**【設置条件】** 浄化槽を設置する個人が所有する用地があり、設置工事の作業範囲および排水放流先が確保されていること。

**【受付期間】** 平成17年度施工分は平成18年1月31日(火)まで(2月以降は新年度分の受け付けとなります。)

### 【使用者負担】

受益者分担金113,000円(設置工事費の一部を負担)

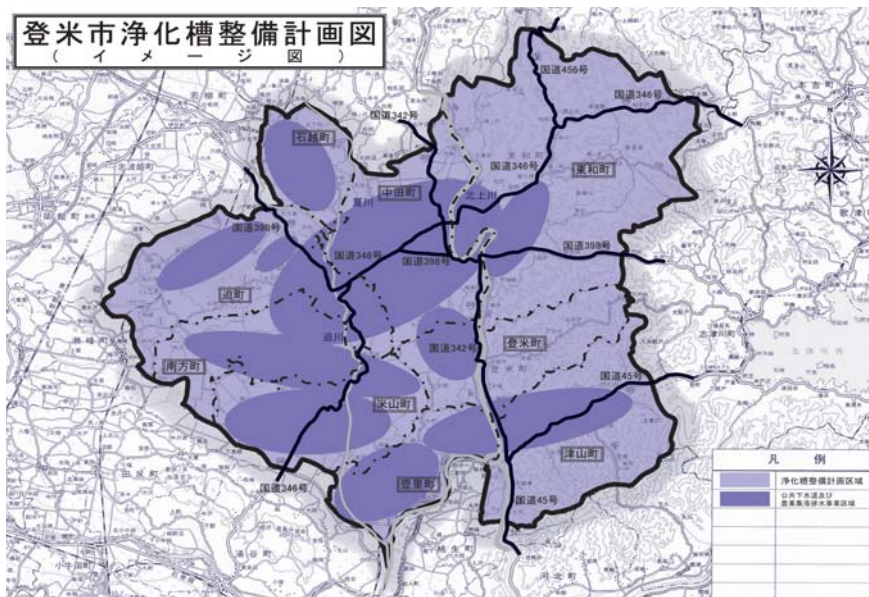
毎月の浄化槽使用料(上水道使用水量により算定)

- ・浄化槽使用料(上水道使用水量を基準とすることが適当でない場合、認定水量もあります)

区分	排出汚水量	金額	
基本使用料	10m <sup>3</sup> まで	1,155円	
超過使用料 (基本使用料に加え)	11m <sup>3</sup> ～ 20m <sup>3</sup>	1m <sup>3</sup> につき	120円
	21m <sup>3</sup> ～ 50m <sup>3</sup>		126円
	51m <sup>3</sup> ～ 200m <sup>3</sup>		136円
	201m <sup>3</sup> ～		147円

プロアの電気代、排水設備ほか車荷重対応などの特殊条件の工事費用

**【その他】** 一部の地域で、補助金の交付により浄化槽を整備していただく区域があります。融資あっせん制度など接続促進の制度もあります。詳しくは下記へお問い合わせください。



### 【申請・問い合わせ】

建設部下水道建設課 ☎0220 (34) 2358



## パソコン講習会の受講生を募集します

南方住民情報センターで、パソコン講習会を開催します。

### ◆ブラインドタッチ（文字入力）講習

【受講資格】パソコンの基本操作（文字入力・マウス操作）ができる人

【日時】12月19日（月）～21日（水）  
午後7時～9時

【定員】15人

### ◆デジタルカメラ写真編集講習

【受講資格】パソコンの基本操作ができる人

【日時】1月18日（水）～20日（金）  
午後7時～9時

【定員】15人

### ◆インターネット初級講習

【受講資格】パソコンの基本操作ができる人

【日時】1月30日（月）～2月1日（水）  
午後2時～4時

【定員】10人



【場所】南方住民情報センター（市役所南方庁舎内）シアターホール

【対象】市内在住の人

【参加費】テキスト代 各1,000円

【受付】12月8日（木）

午前10時から電話受け付けを開始します。（先着順）

【問い合わせ】南方住民情報センター  
☎0220（58）5557

かぶくりぬま

蕪栗沼と登米市を含むその周辺  
水田がラムサール条約に登録

## トレーニングルーム 利用者講習会

12月16日（金）午後7時～  
定員50名（要予約）

【受付開始】12月6日（火）～  
なかだアリーナ

☎0220（34）7302

## 大切な命を救うため「PA連携」をスタート

### □心肺機能停止の傷病者が発生したとき、消防車も出動します。

PA連携とは、消防車（Pump）と救急車（Ambulance）が同時に出動することです。

市消防本部では、傷病者が心肺機能停止と疑われる場合、救急車が現場に到着する前に、近くの消防車を出動させ、いち早く救命処置を実施することで、救命率の向上を目指します。

大切な命を救うため「早い119番通報」「早い応急手当」「早い救急処置」「早い医療処置」のスムーズな連携が必要です。皆様のご理解、ご協力をお願いします。



### 消防車などに積載する救急資器材

自動体外式除細動器（AED）、手動式人工呼吸器、滅菌ガーゼ、感染防止衣など

### ◆消防車のサイレンで区別できます。

⊕火災出動のサイレン

サイレン音「ウ～ウ～」＋鐘の音「カンカン」

⊕火災以外るとき（PA連携含む）

サイレン音「ウ～ウ～」

### □救急車より先に消防車が到着することがあります。

救急車を要請したのに消防車が来てしまったと、びっくりするかもしれません。

通報の内容により、傷病者が心肺機能停止状態と判断、または疑われた場合に、救急車のほかに近くの消防車がサイレンを鳴らして現場に駆け付けます。

【問い合わせ】消防本部救急救助課 ☎0220（22）0119

**【定員】** 70人

※定員になり次第締め切ります。

**【入場料】** 無料

**【出演】** ゴスペルサークルJOY、  
沼倉加代（朗読）

**【申込方法】** 記念館直接または電話

**◆室内楽交響曲演奏会「冬の調べ」**  
東北大学交響楽団OBと木の家合奏団有志による演奏会を開催します。

**【日時】** 12月10日（土）午後7時～

**【定員】** 70人

※定員になり次第締め切ります。

**【入場料】** 無料

**【申込方法】** 記念館直接または電話

**◆志賀公江先生サイン会**  
「スマッシュをきめろ!」「虹子ラライ」などの作品でおなじみの志賀公江先生のサイン会を開催します。

**【日時】** 12月24日（土）午後2時

**【定員】** 50人

※定員になり次第締め切ります。

**◆写真コンテスト作品募集**

記念館光のページのの写真コンテストを開催します。

**【テーマ】** 記念館の光のページントを撮影したもの

**【サイズ】** 六つ切り以上（必ずフレームなどの額に入れてください）

**【応募締切】** 平成18年1月15日（日）  
※詳しくは、光のページント会場に備え付けのチラシまたは記念館にお問い合わせください。

**【問い合わせ】**

石ノ森章太郎ふるさと記念館  
☎0220（35）1099

**油類の取り扱いに注意してください**

油が流出する事故が増えています。家庭のホームタンクなどの取り扱いに注意してください。

**◆転倒や油の流出に対する対策は万全か点検しましょう。**

- ①タンクを設置する場所の補強やチェーンなどによる転倒防止の対策は大丈夫ですか。
- ②タンクと配管の結合部分は、タンクが揺れても壊れないような構造になっていますか。

クが揺れても壊れないような構造になっていますか。

③万一、タンクから油が漏れても外に流れないように、囲い(防油堤)を設置していますか。

**◆油を取り扱うときは十分に注意をして、目を離さないように**

ホームタンクからポリタンクに移し替えている最中に目を離したり、移し替えた後にホームタンクのバルブを閉め忘れたため油が流出した事故が発生しています。

**◆家の前の水路や道路の水も川に流れていきます。**

川の水は水道水や工業用水、農業用水に使われています。

私たちの暮らしと豊かな自然を守るためにも十分注意してください。



**【問い合わせ】** 市民生活部環境課

☎0220（58）5553  
北上川下流河川事務所  
☎0225（95）0194

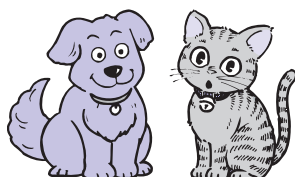
**犬・猫引き取り日**

**◆12月8日（木）**  
（登米・豊里・米山・南方・津山）

**◆12月21日（水）**  
（迫・東和・中田・石越）  
※受け付けは午前9時30分まで

**【持ってくるもの】**  
印鑑、鑑札（犬の場合）

**【受付・問い合わせ】**  
各総合支所市民福祉課市民係



**お知らせの  
問い合わせ先**

登米市役所	☎0220（22）2111
迫総合支所	☎0220（22）2213
登米総合支所	☎0220（52）2111
東和総合支所	☎0220（53）4111
中田総合支所	☎0220（34）2311
豊里総合支所	☎0225（76）4111
米山総合支所	☎0220（55）2111
石越総合支所	☎0228（34）2111
南方総合支所	☎0220（58）2111
津山総合支所	☎0225（68）3111

**12月の納税**

住民税 4期  
国民健康保険税 7期

納期限 12月28日（水）

忘れずに納めましょう。  
※口座振替の方は、通帳の残高を確認してください。



**登米市のデータ**

人口・世帯数  
（平成17年10月末現在）

地区	世帯数	人口		
		男	女	計
迫	7,106	10,845	11,559	22,404
登米	1,832	2,758	3,088	5,846
東和	2,597	4,047	4,212	8,259
中田	4,542	8,210	8,689	16,899
豊里	1,978	3,538	3,722	7,260
米山	2,838	5,348	5,603	10,951
石越	1,593	2,934	3,057	5,991
南方	2,451	4,527	4,856	9,383
津山	1,236	2,045	2,157	4,202
合計	26,173	44,252	46,943	91,195

# 市からの お知らせ

## 子どもを狙った個人情報の聞き出しにご注意！

教育委員会やPTA役員などの名前をかたり、個人情報を聞き出そうとする不審電話が増えています。

「学級の緊急連絡網を作成するので」といった手口で、住所や家族構成、友人の名前や電話番号まで聞き出そうとするものです。

個人情報の漏えいは、犯罪に巻き込まれたり、被害につながる恐れがあります。着払いの学習教材が送りつけられたり、学習教材業者を装った複数の業者から勧誘の電話がきたりといった被害も報告されています。

子どもだけで留守番をしている家庭では、特に注意をし「知らない人には個人情報を話さない」ことを徹底しましょう。

### 【問い合わせ】

教育委員会学校教育課  
☎0220 (34) 2678

## 歴史博物館からお知らせ

博物館では、暮らしの移り変わりを記録したり、展示に活用するため古い写真を収集しています。写真は複写して返却します。お持ちの方はぜひご連絡ください。

**【内容】** 明治から昭和50年ごろまでの日常の暮らしが分かるもの、交通、産業、景観、街並み、官公所など

**【問い合わせ】** 歴史博物館

☎0220 (21) 5411

## 市議会をインターネット中継します

市では、市議会の住民公開サービスを拡大するため、12月議会から本会議の模様をインターネットで動画配信します。

ネット配信は、市ホームページに接続し、「議会中継」をクリックすることで見ることができます（ご使用のパソコンによっては、無料のメディア再生ソフトのダウンロードが必要）。

配信するのは、定例議会や臨時議会の本会議の模様です。生中継のほか、議会終了後数日で、議事日程や内容ごとに整理した録画映像を同様の方法で配信します。

これにより、インターネットに接続したパソコンがあれば、いつでも、どこでも議会中継を見ることができるようになります。

また、議会開会中は、各総合支所のほか公民館などにもインターネットに接続できるパソコンを設置しますので、議会中継を視聴することができます。

12月議会（定例会）は、12月5日から開会します。

### 【URL】

<http://www.city.tome.miyagi.jp/>

### 【問い合わせ】

企画部情報システム課  
☎0220 (22) 2173

## クリスマスおはなし会

図書館ボランティア「だっこ・ラッコ」によるおはなし会を開催します。

**【日時】** 12月17日(土)

午前10時30分～

**【場所】** 迫図書館 2階研修室

**【内容】** 絵本・ビッグ絵本の読み聞かせ、パネルシアターなど

**【問い合わせ】** 迫図書館

☎0220 (22) 9820

## 水道メーター交換のお知らせ

東和町・石越町全域と津山町横山簡易水道地区全域を対象に水道メーターの交換を10月から来年3月まで行っています。

交換は合併に伴い水道メーターの集中管理を行うため、水道事業所から委託を受けた業者が行いますのでご協力をお願いします。その際、身分証明書を携帯していますので必ずご確認ください。

交換費用は無料です。

### 【地区別担当委託業者】

①東和町（米川地区）

（有）佐々木設備（米山）

②東和町（米谷・錦織地区）

（株）中村設備工業所（豊里）

渡光工務店（有）（米山）

③石越町全域

日野ポンプ商会（中田）

④津山町横山簡易水道地区

登米市管工事業協同組合

**【問い合わせ】** 水道事業所業務課

☎0220 (52) 3311

## 石ノ森章太郎ふるさと記念館からのお知らせ

### ◆光のページェント

約3万球の電飾で彩られた幻想的な世界をお楽しみください。

**【期間】** 12月3日(土)～1月2日(月)

午後5時～10時

**【場所】** 記念館庭園内（散策無料）



### ◆ゴスペルでクリスマス

光り輝く冬のひとときをゴスペルと朗読でお楽しみください。

**【日時】** 12月4日(日) 午後7時～

とよま観光物産センター  
「遠山之里」

とよま観光物産センター「遠山之里」は、登米町の中心部にあり、観光案内・物産販売・休憩所・食事処・研修ホールなどの機能を備えた総合施設で、観光の拠点として多くの人が訪れます。

案内所では、5つの歴史資料館共通観覧券の販売や各観光スポットの紹介、観光ガイド受け付けなど、訪れた人を楽しく散策してもらうため



所在地：登米市登米町寺池桜小路2番地1  
開館時間：午前9時～午後5時（とよま茶屋「館山」は午後6時まで）  
休館日：元日（1月1日のみ） ☎0220（52）5566

## ふるさと訪ねある記 ⑨

登米

## 地区の概要

登米町は登米市の東部に位置し、中央を東北の大河北上川が悠々と流れ、東に北上山地、西に田園地帯が広がっています。また、伊達氏の城下町時代の面影を残した街並みが点在し、明治時代に建てられた国指定重要文化財の旧登米高等尋常小学校や県指定有形文化財の旧登米警察署などがあり、毎年多くの観光客が訪れます。

の情報やサービスを提供しています。また、物産コーナーでは、地元工芸品や名産品、新鮮な野菜などを販売しています。



## 石越冬のまつり

1月14日（土）午後4時～

- ◎午後7時花火打ち上げ開始
- ◎天候不順の場合は翌日開催
- ◎市民花火も1口500円から受け付け中
- 【ところ】石越総合運動公園特設会場
- 【内容】古守礼焚上祭（どんと祭）、よさこい踊り、和太鼓演奏、抽選会、出店ほか

【問い合わせ・花火受付】

石越冬のまつり奉賛会

☎0228（34）2064

今年もやります冬の花火！  
豪華スターメインが澄み  
きった冬空に色鮮やかに  
打ち上がります！  
企業PRや各種祈願花火  
を受け付け中です！

北上川水系高校生絵画展  
IN登米市2005

佐々木いつみさんの大賞作品「Identity」

「北上川水系高校生絵画展IN登米市2005」が10月29日から9日間、豊里町ふるさとセンターで開催されました。審査会結果は次のとおりです。

(優秀賞以上、敬称略)

■北上川水系登米大賞

(宮城県知事賞)

作品名「Identity」

佐々木いつみ(佐沼高3年・東和町)

■優秀賞(敬称略)

遠藤真子(涌谷高2年)

佐々木麻美(涌谷高3年)

森谷貴之(本吉響高2年)

## 編集室から

▼今月の特集で多くの皆さんを取材することができました。お茶をこちそうになりながら、いろいろな話をたくさん聞けて勉強になったし、何より皆さんからパワーをいただいたことに感謝します。編集の忙しい時期に、広報OBの皆さんからも「闘魂注入の会」を開いていただいたことにも感謝。▼寒くなってきました。風邪などひかず、良い年をお迎えください。(平井)